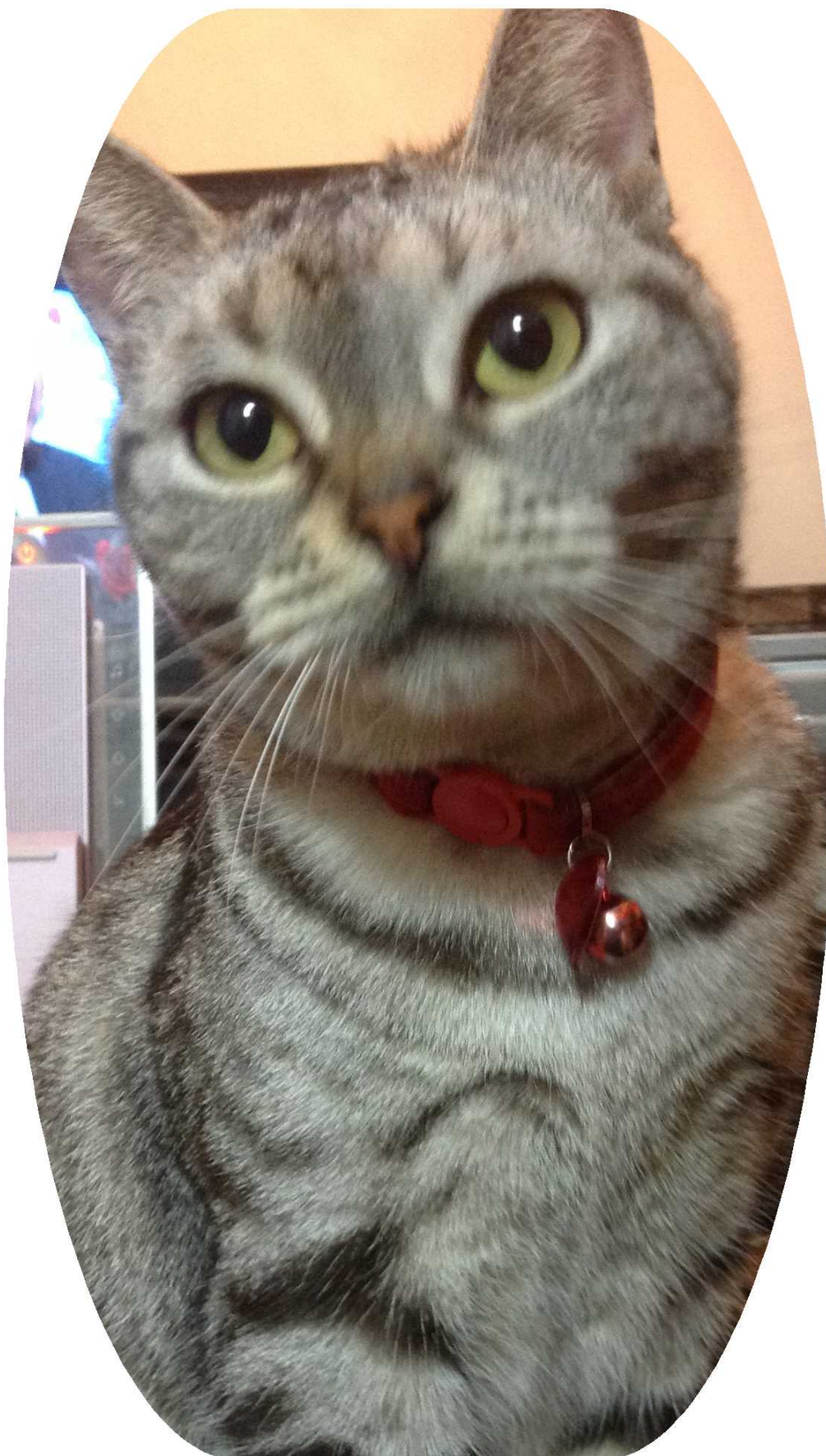


脳卒中パス用語集（読み順編）



<p>ROM</p> <p>Range of movement 関節可動領域 同意語 関節可動領域(かんせつかどうりょういき) 関節を痛みなく動かせる範囲です。</p> <p>急性期リハ 回復期リハ</p>	あーるおーえむ	<p>同意語 座位をとった際に身体の傾き、転落を防止するために使用。</p> <p>急性期看護</p>
<p>握力</p> <p>握力 握る力</p> <p>回復期リハ</p>	あくりよく	<p>ECG</p> <p>Electric Cardio Gram 12誘導心電図 同意語 心臓の活動状態をみる検査。不整脈や虚血性変化などを知る。</p> <p>予防</p>
<p>足首のそり</p> <p>足首のそり 足関節を足先が頭の方に向けて曲げること。</p> <p>急性期診療情報 回復期診療情報</p>	あしくびのそり	<p>意識障害</p> <p>意識障害 同意語 意識レベルはJCSやGCSに従って、眼が覚めている状態を評価する。</p> <p>急性期診療情報</p>
<p>アスピリン</p> <p>アスピリン 同意語 プロスタグランジンの産生を抑制。炎症を抑え、血液凝固を抑制する。 。副作用は胃粘膜障害と出血傾向その他多岐にわたる。</p> <p>予防</p>	あすぴりん	<p>意思疎通</p> <p>意思疎通 同意語 音声によるコミュニケーションが困難な人の意志を確認する手段を問うている。</p> <p>回復期看護</p>
<p>アテローム血栓症</p> <p>アテローム血栓症 動脈粥状硬化(アテローム)のアテロームが剥がれ落ちて末梢につまって起きる病態</p> <p>急性期診療情報</p>	あてろーむけっせんしょう	<p>移乗</p> <p>移乗 ベッド・イス・車イスなどの乗り移りが自分でできるか、介助が必要かを評価する。</p> <p>急性期看護 回復期看護</p> <p>回復期リハ 維持期リハ</p>
<p>RSST</p> <p>repetitive saliva swallowing test 反復唾液嚥下テスト 同意語 嚥下運動時に起こる喉頭挙上→下降運動を触診で確認し、30秒間に起こる嚥下回数を数えます。高齢者では、30秒間に3回できれば正常。</p> <p>維持期歯科 病院歯科</p>	あるえすえすてい	<p>一部介助が必要</p> <p>一部介助が必要 完全には自分でできないが、ほぼ自分でできること。</p> <p>急性期看護</p>
<p>安全ベルト</p> <p>安全ベルト</p>	あんぜんべると	<p>1本ずつ動くが曲げ伸ばしきれない</p> <p>いっぽんずつうごくがまげのばしきれない</p> <p>1本ずつ動くが曲げ伸ばしきれない</p>

指を曲げる筋肉は浅指屈筋と深指屈筋にわかれ、浅指屈筋は指を一本ずつ動かせるが、深指屈筋は一緒に動く。

急性期診療情報 回復期診療情報

移動 いどう

移動
歩行あるいは車椅子で移動する能力のこと。

急性期看護 維持期リハ

移動方法 いどうほうほう

移動方法
同意語
移動が自立歩行か、歩行器を使用するか、車いすを使用するかを問うている。

急性期看護

衣服の着脱 いふくのちゃくだつ

衣服の着脱
同意語
衣服の着脱は一般的には上半身と下半身を分けませんが、FIMでは区別する。上半身では方の動き、下半身では体幹の前屈と股関節の動きが重要。

回復期看護

意欲 いよく

意欲
同意語
自分から行おうとする能動的状態か、指示によって実施するか、それでも実施しないかを評価する。

回復期リハ

胃瘻 いろう

胃ろう
同意語 胃ろう(いろう)

急性期看護 回復期看護 維持期
歯科

胃ろう いろう

Gastrostoma
胃ろう

同意語
体外から胃の中まで管を入れて栄養を送り込む手段。管の挿入場所によって、経鼻、食道、腹壁の3種類がある。

急性期診療情報

飲酒 いんしゅ

飲酒
同意語
嗜好品としてアルコール分を習慣的に摂取すること。

急性期診療情報 維持期診療

咽頭期 いんとうき

咽頭期
同意語
ものを飲み込むには口の中を通過する口腔期、咽頭部(口の奥)を通過する咽頭期、喉頭部(のど)を通過する喉頭期、そして食道を通過する食道期という過程を通る

病院歯科

動かない うごかない

動かない
同意語
指示に対して全く動かないこと。

回復期診療情報 急性期診療情報

動かない うごかない

動かない
同意語
ピクリとも動かないこと。

急性期診療情報 回復期診療情報

う蝕 うしょく

齲歯
同意語
虫歯
病院歯科

うつ うつ

うつ病
同意語
うつ症状が2週間以上続きうつ病と診断された状態

急性期看護
診療情報

回復期看護

回復期

聞く・話す・読む・書く・計算の26項からなる検査

急性期リハ

回復期リハ

うつ症状

うつしょうじょう

ST

えすてい

うつ症状
同意語
うつ病による代表的な9症状

回復期診療情報

Speech therapist
言語聴覚士
同意語

音声によるコミュニケーションおよび嚥下に問題がある人の問題の原
因を探り、機能の回復と向上を手助けする国家資格を持つ人。

急性期診療情報

HCV抗体

えいちしづいこうたい

Antibody of hepatitis C virus
C型肝炎抗体
同意語
患者さんがC型肝炎に罹患したことを示す。

急性期診療情報

回復期診療情報

SPECT

えすぴーいーしーてい

High density lipoprotein cholesterol
高比重リポタンパクコレステロール
同意語

HDL-C
Cが低下すると総コレステロールが低くても動脈硬化が進むことがあります

予防

Single photon emission computed tomography
単一光子放射断層撮影
同意語
放射性同位元素を用いて組織の機能を測定する。PETより手軽だが、画像は荒い。

維持期診療

HDL-C (mg/dl)

えいちでいえるしー

SP02

えすぴーおーつー

Serum pulse oxymeter
経皮的動脈血酸素飽和度
同意語 酸素飽和度(さんそほうわど)

HbA1c (%)

えいちびーえいわんしー

Hemoglobin A1c
グリコヘモグロビン
同意語
赤血球に含まれるヘモグロビンにブドウ糖が結合したグリコヘモグロビンの割合。過去1-2ヶ月の高血糖状態を示す。

予防

急性期看護

回復期看護

NG

えぬじー

Nasal gastric feeding tube
経鼻栄養胃管
同意語 経鼻胃管(けいびいかん)

HBs抗原

えいちびえすこうげん

surface antigen of Hepatitis B
B型肝炎表面抗原
同意語
患者さんの血液や体液がB型肝炎の感染源となりうることを示す。

急性期診療情報

回復期診療情報

エパデール

えぱでーる

エパデール
同意語
EPA製剤。動脈の柔軟性維持。コレステロールの低下。血液凝固の抑制。副作用は吐き気や胸焼け、下痢、便秘など。

予防

SLTA

えすえるていえー

Standard Language Test of Aphasia
標準失語症検査
同意語

FIM

えふあいえむ

Functional independence measure
機能的自立度評価表

同意語 [FIM\(ふいむ\)](#)

運動と認知を評価

急性期リハ

MRI

えむあーるあい

magnetic resonance imaging

核磁気共鳴画像法

同意語

人体内の水素原子の分布を画像化したもの。

維持期診療

MRSA

えむあーるえすえー

Methicilin resistant staphylococcus aureus

メチシリン耐性ブドウ球菌

同意語

急性期診療情報

回復期診療情報

MMSE

えむえむえすいー

mini Mental State Examination

ミニメンタルステート検査

同意語

アルツハイマー型認知症などの疑いがある被験者のために作られた
簡便な検査方法で、被験者に対し口頭質問で行われる。

回復期診療情報

MT

えむてい

Magen tube

経鼻栄養胃管

同意語 経鼻胃管(けいびいかん)

MDRP

えむでいあーるぴー

multidrug resistant Pseudomonas aeruginosa

多剤耐性緑膿菌

同意語

多くの抗生物質と逆性石鹼やヒビテンに対して抵抗性を持つ緑膿菌。

毒性は弱いが免疫力が低下した人には致命的。

LDL-C(mg/dl)

えるでいえるしー

Low density lipoprotein cholesterol

低比重リポタンパクコレステロール

同意語

予防

嚥下障害

えんげしょうがい

嚥下障害

同意語

食物を食べる能力の障害。準備期、口腔期、咽頭期、食道期にわけて

評価する。口腔期では歯と舌の機能が問題となり、咽頭期では舌の付

け根部分から喉頭(食道と気管に振り分ける部分)の機能が問題となる。

急性期診療情報
リハ

急性期リハ

急性期

回復期診療情報

回復期リハ

予防

嚥下障害食

えんげしょうがいしょく

嚥下障害食

同意語

嚥下障害を持つ人にも食べやすくした食事。口腔期に問題がある場合

はきざみ食、ミキサー食などが使用され、咽頭期に問題がある場合は

飲み込みやすくするためのトロミ食やペースト食が使われる。

急性期診療情報

嚥下障害食

えんげしょうがいしょく

嚥下障害食

同意語

咬んで小さくし、唾液でまとめ、舌で奥へ運び、飲み込む。これらがうま

く行くように工夫した食事。細かく刻んだり、とろみをつけたりした食事。

病院歯科

応用歩行(階段・屋外など) おうようほこうかいだんおくがいなど

応用歩行(階段・屋外など)

同意語

平坦な床以外での歩行

急性期リハ

大声

おおごえ

大声

同意語

社会的交流の障害の一つとして不適切な状況で大声を出すこと。

急性期看護

回復期看護

OT

おーてい

Occupational therapist

作業療法士

同意語

様々な作業を通して生活機能の改善・回復を目指す国家資格を持つ人

急性期診療情報

起き上がりできる

おきあがりできる

起き上がりできる

同意語

臥位から座位に身体の位置を変えること。

急性期看護

回復期看護

屋外歩行

おくがいほこう

屋外歩行

同意語

屋外での歩行。さまざまな段差、でこぼこした路面を歩く能力。

回復期リハ

屋内歩行

おくないほこう

屋内歩行

同意語

屋内での歩行。平坦歩行に階段歩行が加わる。

回復期リハ

音声

おんせい

音声

同意語

声掛けに反応して意志を返せること。

維持期診療

回復期リハ

開口障害

かいこうしょうがい

開口障害

同意語

口が十分に開けないことを示す。

急性期看護

病院歯科

回復期

看護

維持期歯科

介護度

かいごと

介護度

同意語

介護保険による判定を指す。自立、要支援1・2、要介護1・2・3・4・5

の8段階で評価される。

維持期診療

介護保険情報

かいごほけんじょうほう

介護保険情報

同意語

介護保険の申請・評価・認定の状況を示す。

維持期診療

介助歩行

かいじょうほこう

介助歩行

同意語

見守りや支持が必要なことを示す。

回復期看護

介助を要しない

かいじょをようしない

介助を要しない

同意語

自立していることを示す。

急性期看護

疥癬

かいせん

scabies

疥癬

同意語

ビゼンダニの寄生によりおこる。ダニの数が少ない場合は通常型(発

赤・隆起・トンネル形成)、極端に多い場合は角化型

(分厚くなり白い粉

をふく)になる。

急性期診療情報

回復期診療情報

階段

かいたん

階段昇降

同意語 階段昇降(かいたんしょうこう)

階段昇降のこと。

回復期リハ

維持期リハ

階段昇降 かいだんしょうこう
階段昇降
同意語
階段昇降についての能力を評価する。
回復期リハ

改定版長谷川式簡易知能評価スケール かいていはせがわしきかんいちのうひょうかすけーる
改定版長谷川式簡易知能評価スケール
同意語
認知症のスクリーニングに使用するが、軽度の認知症ではテストへの協力を得ることが難しい。
回復期診療情報

解離性動脈瘤 かいりせいどうみやくりゅう
解離性動脈瘤
同意語
心臓から上行・弓状・下行大動脈の体内で最も深い動脈において、動脈壁の3層構造のうち外膜と中膜の間が裂けた状態。
急性期診療情報

家屋調査 かおくちょうさ
家屋調査
同意語
家屋内の段差や広さ、玄関・居室・トイレ・風呂などの移動距離などを調べて自宅での生活に必要な支援を計画すること。
回復期リハ

下顎全部床義歯 かがくぜんぶしょうぎし
下顎全部床義歯
同意語
下の歯を完全に喪失し、義歯を使用していること。
病院歯科

下肢 かし
下肢
同意語
大腿、ひざ、下腿、足首、足、足指をふくむ。
回復期リハ

下肢装具使用 かしそうぐしょう
下肢装具使用
同意語
下肢の喪失に対して移動などの目的で義肢を利用していること。
回復期リハ

家族指導 かぞくしどう
家族指導
同意語
疾病・病態によって食事や生活に対する注意点、およびADLが自立していない患者に対する介護方法などを家族が理解し実施できるようにすること。
回復期リハ

可動領域 かどうりょういき
Range of movement
関節可動領域
同意語 関節可動領域(かんせつかどうりょういき)
関節を痛みなく動かせる範囲です。
急性期リハ 回復期リハ

咀嚼嚙む機能(機能歯数) かむきのう
2
咀嚼嚙む機能(機能歯数)
同意語
食物をかむことに使用できる歯の数を機能歯数という。上下にそろっていることが必要。
維持期歯科

感覚障害 かんかくしょうがい
感覚障害
同意語
五感の一つ以上が完全に消失(感覚麻痺)したり、鈍く(感覚鈍麻)なったりすること。
急性期診療情報 急性期リハ 回復期診療情報
回復期リハ

肝機能障害 かんきのうしょうがい
肝機能障害
同意語
肝臓の機能が低下すること。肝炎やアルコール過剰摂取や薬剤の影響

響で起こることが多い。AST・ALT・rGTP・LDHなど肝酵素の上昇で診断される。

急性期診療情報 回復期診療情報 維持期診療

間欠導尿 かんけつどうによ

間欠導尿
同意語
前立腺肥大や膀胱機能障害により排尿が困難になった際に、カテーテルを挿入して排尿後に抜去する方法。膀胱留置カテーテル(バルーン)に比べて感染が起りにくいが、カテーテル挿入技能が必要。

急性期看護

肝硬変 かんこうへん

肝硬変
同意語
肝臓の炎症が進むと線維化が進行して固くなり肝硬変といわれる。肝硬変に至ると肝機能低下は不可逆で黄疸や吐血・下血が起りやすくなる。

急性期診療情報 維持期診療

感情失禁 かんじょうしっきん

感情失禁
同意語
高次脳機能障害の社会的行動障害一部。感情の制御が効かず些細な感情変化がどんどん増大し、泣いたり怒ったり笑ったりすること。診断にあたっては何らかの原因が無い十分な注意が必要。また感情を伴わない流涙などと区別すること。

急性期看護 回復期看護

関節可動領域 かんせつかどうりょういき

Range of movement

関節可動領域

同意語

関節を痛みなく動かせる範囲です。

急性期リハ 回復期リハ

乾燥 かんそう

口腔乾燥

同意語

口腔内が乾燥している場合、唾液分泌が極端に少ないか、口呼吸を行っていることを示す。鼻閉、口内細菌の増加、嚥下機能の低下などが疑われる。

急性期看護 回復期看護

記憶 きおく

記憶

同意語

記憶とは覚える事(記銘)、覚えておくこと(保持)、および思い出すこと(想起)の3つの要素から成り立つ。記銘が障害されると過去のことは覚えているのに新たな事を覚えられない。保持が障害されるとすぐに忘れてしまう。想起が障害されると覚えているはずのことを思い出せなくなる。

回復期リハ 維持期リハ

記憶障害 きおくしょうがい

記憶障害

同意語

記憶の3要素のいずれかまたは全部が障害されること。

急性期診療情報 回復期診療情報 回復期リハ

気管切開 きかんせつかい

気管切開

同意語

頸部の体表から気管に至る穴をあけて鼻腔や口腔を経過せずに肺に空気が入るようにした状態。咽頭・喉頭の手術によって実施する場合と、長期の人工呼吸管理のために実施する場合がある。人工呼吸管理のために実施した場合は痰の吸引がほぼ必須となる。

急性期診療情報

聞き取れない ききとれない

聞き取れない

同意語

患者の発音が不明瞭で判別できないか、十分な音量でしゃべれないこと。

急性期診療情報

危険行動

きけんこうどう

危険行動
同意語

治療・検査中のチューブ類・点滴ルート等の自己抜去、転倒・転落、自傷行為、及びそのまま放置すれば危険行動に至ると判断する行動(そぶり)が診られたということ。

急性期看護

義歯清掃

ぎしせいそう

義歯清掃
同意語

義歯を清潔に保つ操作。

病院歯科

維持期歯科

義歯着脱(Denture Wearing)

ぎしちやくだつ

義歯着脱
同意語

入れ歯を入れたり外したりする能力。口腔ケアの自立度を示す。

病院歯科

義歯の清掃状況

ぎしのせいそうじょうきょう

義歯の清掃状況
同意語

義歯は自己の歯牙より清掃が難しく不潔になりやすい。不潔になると誤嚥性肺炎の確率が著しく上昇する。

病院歯科

維持期歯科

義歯の適合状況

ぎしのてきごうじょうきょう

義歯の適合状況
同意語

食事摂取の状況、栄養状態、全身状態などによって歯肉の状況が変化し義歯が不適合となりやすい。不適合であるとさらに食事摂取が困難になり、口内炎や歯肉炎などを起こしやすくなる。

病院歯科

維持期歯科

喫煙

きつえん

喫煙
同意語

喫煙は高血圧、動脈硬化、糖尿病、肺気腫、誤嚥性肺炎、虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)、脳梗塞、肺がんなどの危険因

子であり、直ち

に禁煙することが望ましい。禁煙の効果は高血圧や虚血性心疾患に対

してはただちに、それ以外に対しても数か月後から効果があらわれ始める。

急性期診療情報

維持期診療

予防

咀嚼嚙む機能(機能歯数)

きのうしすう

咀嚼嚙む機能(機能歯数)
同意語

食物をかむことに使用できる歯の数を機能歯数という。上下にそろっていることが必要。

維持期歯科

機能障害

きのうしょうがい

機能障害
同意語

中枢神経機能、末梢神経機能、運動機能、精神機能の障害を評価。

回復期診療情報

基本動作能力

きほんどうさのうりよく

基本動作能力
同意語

寝返る・起き上がる・すわる・立つ・歩くといった運動能力のこと。

回復期リハ

吸引

きゅういん

吸引
同意語

気管切開患者に対する気道からの喀痰の吸引のこと。

急性期診療情報

胸部XP

きょうぶえつくすぴー

胸部レントゲン写真
同意語

心臓、肺、気管、大動脈・大静脈、胸部の骨格などの状態を見るために行う検査。

予防

口の高さに拳がる

くちのたかさにあがる

口の高さに挙がる

同意語

手を口の高さまで上げられること。手の機能敏江は自分で食べられることを意味する。ひじ関節の動きだけでは胸元にしか達しないので肩関節を拳上できることを示す。

回復期診療情報

クモ膜下出血

くもまくかしゅっけつ

くも膜下出血

同意語

脳の表面を覆う軟膜とそのすぐ外側を覆うくも膜との間で出血する脳卒中

急性期診療情報

グリ澗

ぐりかん

Glycerine enema

グリセリン澗腸

同意語 グリセリン澗腸(ぐりせりんかんちょう)

直腸に便がたまっている便秘時に使用。

急性期看護

グリセリン澗腸

ぐりせりんかんちょう

Glycerine enema

グリセリン澗腸

同意語

直腸に便がたまっている便秘時に使用。グリセリンによる直腸脊髄反

射で主として左半結腸に蠕動亢進がおこり排便する。

急激に注入する

と直腸壁拡張による直腸仙髄反射が先に起こり液が出てしまう。長い

管を奥まで入れるのは無意味というより穿孔の危険がある。本来おしり

から離れたところでゆっくりと液を送り込むために長い管がついている。

急性期看護

車椅子自操

くるまいすじそう

車椅子自操

同意語

車いす(電動・手動を問わない)を自分で操作できること

回復期看護

回復期

リハ

維持期リハ

車椅子乗車

くるまいすじょうしゃ

車椅子乗車

同意語

車いす(電動・手動を問わない)に自分で乗り移れること

回復期看護

訓練中のバイタル変動

訓練中のバイタル変動

同意語

リハビリ訓練中に著しい血圧変動、息切れ、脈拍変化などが起こること。

回復期リハ

経管摂取

けいかんせつしゅ

経管摂取

同意語

胃瘻を用いて栄養摂取すること。栄養剤の銘柄、量、注入スピードなどによって下痢や嘔吐を起こすため情報が必要。

急性期看護

回復期看護

病院歯科

経口

けいこう

経口摂取

同意語 経口摂取(けいこうせつしゅ)

口から薬や食事を摂取すること。

急性期診療情報

急性期看護

回復期看護

経口・経管併用

けいこうけいかんへいよう

経口・経管併用

同意語

口からの食事摂取で十分な栄養を得られないために経管栄養を併用していること。

病院歯科

維持期歯科

経口摂取

けいこうせつしゅ

経口摂取

同意語

口から薬や食事を摂取すること。

急性期診療情報
看護

急性期看護

回復期

経静脈 けいじょうみやく

経静脈
同意語
中心静脈栄養(TPN)と同義。消化管から栄養を摂取できないときに使用。

維持期歯科

頸動脈エコー けいどうみやくえこー

頸動脈エコー
同意語
頸動脈の状況を超音波検査で調べること。内腔の大きさ、壁の肥厚や石灰化、弾力、流れの速さなどを測定できる。

維持期診療 予防

経鼻胃管 けいびいかん

Nasal gastric feeding tube
経鼻栄養胃管
同意語
鼻から胃まで管を入れて胃瘻とすること。口から入れると不快感が非常に強い。

急性期診療情報

経鼻 けいびいかん

経鼻栄養胃管
同意語 経鼻胃管(けいびいかん)

維持期歯科

血圧 けつあつ

血圧
同意語
マンシエットを巻き、圧力を十分にあげて脈拍音が聞こえ始める点を収縮期圧、聞こえなくなる点を拡張期圧という。収縮期圧120以下かつ拡張期圧80以下を正常血圧という。血圧は睡眠、食事、体位、運動、緊張などによって変動する。また上肢と下肢、右と左でも異なる。

急性期看護 回復期看護 予防

血管狭窄 けっかんきょうさく

血管狭窄
同意語
動脈硬化や奇形などによって血管に狭窄を生じるが、そこには血圧格差が生じ詰まったり、破れたりしやすくなる。

急性期診療情報

血管撮影 けっかんさつえい

血管撮影
同意語
造影剤というレントゲン写真に濃く写る液体を血管内に注入して動脈の走行と太さを検査する方法。

維持期診療

血清クレアチニン けっせいくれあちにん

血清クレアチニン
同意語
筋肉を使うとクレアチニンを生じ、腎臓から排泄される。血液中から尿中に排泄される割合(クレアチニンクリアランス)は腎機能を示す。血清クレアチニンは腎機能低下以外でも筋肉の多い人、筋肉をよく使った人、脱水状態の人で上昇する。

予防

血糖(食後) けつとうしょくご

血糖(食後)
同意語
血液中の糖の量。食後ただちに上昇し、インスリンの働きで正常に戻る。
。糖尿病の初期では食後の血糖のピーク値が正常よりも高くなる。

予防

健側のみ けんそくのみ

健側のみ
同意語
眼球運動が麻痺側へ到達しないこと。神経は延髄で左右が入れ替わるので延髄より行為で障害が起こると麻痺側を見れなくなる。

急性期診療情報 回復期診療情報

見当識障害

けんとうしきしょうがい

見当識障害
同意語

人や周囲の状況、時間、場所など自分自身が置かれている状況などが正しく認識できない状態。

急性期看護
リハ

急性期リハ

回復期
リハ

降圧剤

こうあつざい

降圧剤
同意語

血圧を下げるための薬。

予防

更衣(下半身)

こういかはんしん

更衣(下半身)
同意語

[FIM](#)では更衣能力を上半身と下半身に分けて評価する。

回復期リハ

維持期リハ

更衣(上半身)

こういじょうはんしん

更衣(上半身)
同意語

[FIM](#)では更衣能力を上半身と下半身に分けて評価する。

回復期リハ

維持期リハ

構音・嚥下障害

こうおんえんげしょうがい

構音・嚥下障害
同意語

口腔及び咽頭の機能(口唇・舌・顎・上顎・頬)によって構音・嚥下(口腔期)が達成される。

急性期診療情報

構音障害

こうおんしょうがい

構音障害
同意語

声を発するには肺からはき出した息を声帯で震わせて音にする発声と

口腔及び咽頭を用いる構音が必要である。

急性期診療情報
リハ

回復期診療情報

急性期

病院歯科

回復期リハ

予防

抗凝固薬

こうぎょうこやく

抗凝固薬
同意語

血液凝固を抑制する薬。ワルファリン、ヘパリン、プラザキサなど。

病院歯科

予防

口腔

こうくう

口腔
同意語

唇から舌の付け根までをさす。

回復期看護

口腔乾燥

こうくうかんそう

口腔乾燥
同意語

口呼吸によって常時口をあいている場合や唾液分泌が低下している場合に口腔内が乾燥する。舌を動かすことが容易ではなくなり、食事摂取や嚥下、しゃべることなどが円滑ではなくなり、口腔内細菌が増加する。

病院歯科

維持期歯科

口腔期

こうくうき

口腔期
同意語

食事を摂取する際の最初の時期。歯でかみ、舌でこねて、口の奥に食事を送り込むまでを指す。

病院歯科

口腔ケア

こうくうけあ

口腔ケア
同意語

歯ブラシと口の漱ぎ(お口くちゆくちゆ)によって口腔内の食物残渣を除去し口内細菌の増殖を抑えること。

維持期歯科

病院歯科

口腔清潔

こうくうせいけつ

口腔清潔

同意語

口腔内に残渣や歯垢などが無く、清潔に保たれていること。

急性期看護

回復期看護

口腔の状態

こうくうのじょうたい

口腔の状態

同意語

口腔内の乾燥、食物残渣、歯垢、炎症、齲歯、歯肉炎などを評価すること。

急性期看護

高血圧

こうけつあつ

高血圧

同意語

血圧は睡眠、食事、体位、運動、緊張などによって変化するが、安静座位での血圧が120/80を超える状態が持続している場合を高血圧という。

急性期診療情報

回復期診療情報

維持期

診療

予防

高血圧性

こうけつあつせい

高血圧性

同意語

疾病の原因または進行に高血圧が重要な役割を持っていることを示す。

急性期診療情報

抗血小板薬

こうけっしょうばんやく

抗血小板薬

同意語

血小板の凝集を抑制する薬。バファリン、バイアスピリン、オパルモン、プロレナール、ドルナー、プロサイリン、エパデル、パナルジン、プラビックス、アンプラークなど。

病院歯科

予防

高次機能障害

こうじきのうしょうがい

高次脳機能障害

同意語

高次脳機能障害(こうじきのうしょうがい)

予防

高脂血症

こうしけっしょう

高脂血症

同意語

血液中の脂質が多いこと。血液中にはコレステロール、中性脂肪、リン脂質、遊離脂肪酸の4種類の脂質が存在しそれぞれ単独に上昇することもあるが一般的には空腹時血中総コレステロール220mg/dl以上をいう。

維持期診療

高次脳機能障害

こうじきのうしょうがい

高次脳機能障害

同意語

高次脳機能障害は記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害の総称。

急性期診療情報

口臭

こうしゅう

口臭

同意語

口臭は口腔内から発するものと、副鼻腔など口の周りから発するものと、胃内容貯留など胃から発するものと、肝疾患など代謝異常から発するものがある。いずれにしても重大な健康問題である。

急性期看護
看護

病院歯科

回復期

維持期歯科

口頭

こうとう

口頭

同意語

音声によって支持を受け取り、実行できることをしめす。

回復期看護

行動症状

こうどうしょうじょう

行動症状

同意語

状況にそぐわない不適切な行動で、しばしば他者もしくは本人にとって

有害である行動。身体的な能力として行動を実行できない場合を除く。

回復期看護

股関節の曲げ

こかんせつのまげ

股関節の曲げ

同意語

まっすぐ前の方向(矢状方向)に膝をつきだすこと。

急性期診療情報

回復期診療情報

コミュニケーション

こみゆにけーしょん

意思疎通

同意語

意志の表出と理解についての評価

維持期リハ

コミュニケーション手段

こみゆにけーしょんしゆだん

意思疎通手段

同意語

自分の意志を表明する方法と相手の意志を理解する方法

回復期看護

コミュニケーション理解

こみゆにけーしょんりかい

意思疎通の理解

同意語

相手の意志をどれぐらい理解できるか

回復期リハ

座位

ざい

座位

同意語

座っている姿勢を保つこと。姿勢を臥位・座位・立位と変えることは含まない。

急性期診療情報

回復期診療情報

座位がとれない

ざいがとれない

座位がとれない

同意語

介助しても座る姿勢をとれないこと。股関節が曲げられない、臀部に痛みがあるなどの理由が考えられる。

急性期診療情報

回復期診療情報

座位がとれるが傾く

ざいがとれるがかたむく

座位がとれるが傾く

同意語

体幹の筋力低下や平衡感覚の障害によって体幹の位置を十分に制御

できないことを示す。

急性期診療情報

回復期診療情報

座位保持できる

ざいほじできる

座位保持できる

同意語

一人で座っていることができること。

急性期看護

回復期看護

支えがあればできる

ささえがあればできる

支えがあればできる

同意語

座位を保つ際にクッションなどの支えで体幹の傾きを制御できること。

急性期看護

回復期看護

左右差なし

さゆうさなし

左右差なし

同意語

感覚や運動機能が左右ほぼ同じであること。あるいは

血圧についても

使用される。

急性期診療情報

酸素投与

さんそとうよ

酸素投与

同意語

呼吸機能の低下などによって酸素吸入が必要なこと。

急性期診療情報

酸素飽和度

さんそほうわど

Serum pulse oxymeter

経皮的動脈血酸素飽和度

同意語

急性期看護

回復期看護

残存歯数

ざんぞんしすう

残存歯数

同意語

自分の歯が何本残っているかということ。咀嚼機能、嚥下機能、構音機能に影響する他に、誤嚥性肺炎の発生率にも影響する。

維持期歯科

GE

じーいー

Glycerine enema

グリセリン浣腸

同意語 グリセリン浣腸(ぐりせりんかんちょう)

直腸に便がたまっている便秘時に使用。

急性期看護

GCS

じーしーえす

Glasgo coma scale

グラスゴー昏睡尺度

同意語

意識状態の評価スケール

急性期診療情報

CT

しーてい

Computer tomography

同意語

放射線撮影で身体の輪切り図を合成する検査

維持期診療

GDS

じーでいえす

Geriatric Depression Scale

高齢者うつ尺度

同意語

高齢者用のうつスクリーニング

回復期診療情報

JCS

じえいしーえす

Japan coma scale

日本昏睡尺度

同意語

意識状態の評価スケール

急性期診療情報

ジェスチャー

じえすちやー

身振り

同意語

手話あるいは手の動きによって意志を伝えること。

回復期看護

歯牙う蝕

しがうしょく

歯牙う蝕

同意語

虫歯のこと。

維持期歯科

視覚

しかく

視覚

同意語

眼で見る感覚。ものの形を見る視力と、色を見る色覚と、見える範囲(視野)で構成される。

回復期リハ

維持期診療

歯垢

しこう

歯垢

同意語

歯の付着した水分と有機物。有機物の大半は細菌とその代謝物。誤嚥性肺炎の原因として注目されている。

維持期歯科

脂質異常症

ししつじょうしょう

脂質異常症

同意語

高脂血症と脂質代謝異常症を含んだ疾患群。

急性期診療情報

回復期診療情報

予防

指示にて戻せる

しじにてもどせる

指示にて戻せる

同意語

座位での体幹の傾きを自分の力で戻せること。

急性期診療情報

回復期診療情報

四肢マヒ

ししまひ

四肢マヒ

同意語

手足の全てがマヒしていること。

回復期診療情報

四肢抑制

ししよくせい

四肢抑制

同意語

医療処置中の安全のために抑制が必要なことを示す。

回復期看護

肢体不自由

したいふじゆう

肢体不自由

同意語

四肢および手指の動きに制限があり、身体障害の認定基準に達していること。

維持期診療

しっかりそる

しっかりそる

しっかりそる

同意語

足関節を背屈できること。一人で椅子から立つには背屈できる事が必要。

急性期診療情報

回復期診療情報

しっかり伸びる

しっかりのびる

しっかり伸びる

同意語

ひざ関節がしっかり伸びると立位をとれる。

急性期診療情報

しっかり曲がる

しっかりまがる

しっかり曲がる

同意語

股関節がしっかり曲がると座位をとれる。

急性期診療情報

回復期診療情報

失語

しつご

失語

同意語

聴力、発声、構語能力には問題ないが、言語を聞き取る能力、言語を理解する能力、言語を表出する能力のいずれかが障害された状態を失語という。

急性期診療情報
診療情報

急性期リハ

回復期

回復期リハ

失行

しっこう

失行

同意語

熟練していた動作や運動が障害される状態。筋力低下・無動症・感覚障害・けいれん・不随意運動・知的能力低下などにはよらないもの

急性期診療情報

回復期診療情報

失調

しつちょう

失調

同意語

身体を動かすには多くの機能を協調させる必要がある。この協調機能が低下した状態。

急性期診療情報

回復期診療情報

失認

しつにん

失認

同意語

対象物の存在を認識できない状態。半盲では視野の半分が見えないことがわかっているが、半側失認では見えていないことがわからない。

回復期リハ

歯肉炎・歯周炎

しにくえんししゅうえん

歯肉炎・歯周炎

同意語

歯肉に限局した炎症を歯肉炎、他の歯周組織にまで炎症が起こっていると歯周炎と言う。

病院歯科

維持期歯科

自分で着脱する

じぶんでちゃくだつする

自分で義歯の着脱をする

同意語

義歯であることを認識し、自分で正しく付け外しできる

病院歯科

自分ではまったく着脱しない じぶんではまったくちゃくだつしない

自分では義歯を着脱しない
同意語
義歯であることの認識がないか、認識があっても脱着の方法がわからない。
病院歯科

自分で磨けない じぶんでみがけない
自分で磨けない
同意語
BDR(口腔ケアの自立度)の評価における歯磨き(B)評価
病院歯科

社会的交流 しゃかいてきこうりゅう
社会的交流
同意語
周囲の人々と協調して暮らす能力。感情、発言、行動をコントロールし適切に行うこと。
回復期リハ 維持期リハ

社会認識 しゃかいにんしき
社会認識
同意語
FIMにおいて社会認識は社会的交流・問題解決・記憶の3分野で評価する。
回復期リハ 維持期リハ

視野障害 しゃしょうがい
視野障害
同意語
見える範囲に障害がること。まっすぐ前を向いた状態で見える範囲を調べる。左右の半分が見えない半盲、周囲が見えなくなる周辺視野障害、中心部分が見えない求心性視野狭窄、扇型視野狭窄などがある。
急性期診療情報 回復期診療情報 予防

重度精神障害 じゅうどせいしんしょうがい
重度精神障害
同意語
精神障害者保健福祉手帳の障害等級が1級のもの。精神障害が日常

生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のものをさす。
急性期診療情報

手指 しゅし
手指
同意語
手の指のこと。手のひらや甲は含まない。
急性期診療情報

腫脹 しゅちよう
腫脹
同意語
腫れていること。
急性期看護 回復期看護

出血 しゅっけつ
歯肉からの出血
同意語
歯肉炎によって軽度の刺激によって、あるいは刺激が無くても出血する状態。
急性期看護 回復期看護

上顎全部床義歯 じょうがくぜんぶしょうぎし
上顎全部床義歯
同意語
上顎の総入れ歯。
病院歯科

状況判断能力 じょうきょうだんだんのうりよく
状況判断能力
同意語
FIMの社会的交流とほぼ同義。状況に応じた行動をとるための能力。
急性期診療情報 回復期診療情報

症候性てんかん しょうこうせいてんかん
症候性てんかん
同意語
脳に病変があつておこるてんかんのこと。病変が見当たらない場合は特発性てんかんという。脳卒中後に発症したてんかん

は病変があるため症候性てんかんという。

急性期診療情報 回復期診療情報

上肢 じょうし

上肢
同意語
肩関節から指先までをいう。

回復期診療情報

常食 じょうしょく

常食
同意語
健全人が食べるのと同じように調理された食事。

病院歯科

上肢抑制 じょうしよくせい

上肢抑制
同意語
医療処置中の安全のために上肢の抑制が必要なことを示す。

急性期看護

食物残渣 しょうもつざんさ

食物残渣
同意語
口腔内に食物が残っていること。嚥下の口腔期に障害があることを示す。

病院歯科

食事摂取 しょくじせつしゆ

食事摂取
同意語
食べる事。

回復期看護

褥瘡 じよくそう

褥瘡
同意語
床ずれのこと。その評価にはDESIGN-R分類が使用される。0: 疑い。1: 持続する発赤。2: 真皮までの欠損。
3: 皮下組織までの欠損。4: 筋層までの欠損。5: 骨や

関節や体腔に

急性期看護

褥瘡 じよくそう

褥瘡
同意語 褥瘡(じよくそう)

回復期看護

食道期 しょくどうき

食道期
同意語
嚥下の最終段階。喉頭を通過し、食道期をへて胃内に入って消化が始まる。

病院歯科

食事(はし・スプーン等) しょじじはしすぷーんなど

食事(はし・スプーン等)
同意語
食事の自立状況を示す。箸やスプーンを使って自分で食べること。

維持期リハ

自立歩行 じりつほこう

自立歩行
同意語
自分一人で歩けること。

回復期看護

心エコー しんえこー

心臓超音波検査
同意語 心臓超音波検査
心臓のエコー検査。心臓の動き、弁の状況、心臓内の血栓の有無、大血管の効果の様子などを見る。

維持期診療

心筋梗塞 しんきんこうそく

心筋梗塞
同意語
心臓自身を栄養する冠動脈の血流が途絶しその領域の心筋が壊死する病気。

急性期診療情報

回復期診療情報

心原性塞栓

しんげんせいそくせん

心原性塞栓

同意語

心房細動などで心臓の中で発生した血栓が脳につまっておこる脳梗塞。

急性期診療情報

腎障害

じんしょうがい

腎機能障害

同意語

腎臓の機能が低下していること。

急性期診療情報
診療

回復期診療情報

維持期

身障手帳

しんしょうてちょう

身体障害者手帳

同意語

視覚障害、聴覚障害、音声・言語機能障害、そしゃく機能障害、肢体不

自由、心臓機能障害、

呼吸器機能障害、じん臓機能障害、ぼうこう又は直腸機能障害、小腸

機能障害、免疫機能障害、肝臓機能障害があり、その重症度に応じて

維持期診療

心臓エコー検査

しんぞうえこーけんさ

心臓超音波検査

同意語 心臓超音波検査

心臓のエコー検査。心臓の動き、弁の状況、心臓内の血栓の有無、大

血管の効果の様子などを見る。

維持期診療

心臓超音波検査

しんぞうちょうおんぱけんさ

心臓超音波検査

同意語

心臓のエコー検査。心臓の動き、弁の状況、心臓内の血栓の有無、大

血管の効果の様子などを見る。

維持期診療

身長

しんちょう

身長

同意語

身長と体重によって栄養量、薬剤の投与量などを決める。

回復期看護

深部静脈血栓症

しんぶじょうみやくけっせんしょう

深部静脈血栓症

同意語

主として下肢の奥の静脈内で血液がよどみ血栓ができた病気。長時間

の座位(エコノミークラス症候群)、手術や長期の臥位、心不全、爪周

囲などの感染が契機となっていることが多い。脳卒中と同じ背景疾患を

持つため合併しやすい。

回復期診療情報

心不全

しんふぜん

心不全

同意語

心筋の動きが悪くなり、心臓が拡張した状態。身体を動かした際に血液

を十分送り出せなくなり息切れが起こる。また足に浮腫が起こりむくむ。

急性期診療情報
診療

回復期診療情報

維持期

腎不全

じんふぜん

腎不全

同意語

腎臓の機能が著しく低下した状態。透析の導入の検討が必要になる。

急性期診療情報

維持期診療

心房細動

しんぼうさいどう

心房細動

同意語

心臓の上半分にあたる心房が規則的に収縮できなくなり細かく震えて

いる状態。心房に血液がよどみ、血栓ができやすくなる。

急性期診療情報
診療

回復期診療情報

維持期

予防

遂行機能障害

すいこうきのうしょうがい

遂行機能障害

同意語
論理的に考えて問題の原因を推察し、解決方法を考え、行動の計画を立て、実際に行動し、その結果を評価し、分析することができない状態を遂行機能障害という。

回復期リハ

睡眠 すいみん

睡眠
同意語
眠りが適切な時間に、十分な長さ、十分な深さでとれるかを問題として
いる。

回復期看護

ストレッチャー すとれっちャー

ストレッチャー
同意語
主たる移動手段が車いすは不可能で、ストレッチャーや担架であること
示す。

回復期看護

SPECT すぺくと

Single photon emission computed tomography
単一光子放射断層撮影
同意語 SPECT(すぺくと)
放射性同位元素を用いて組織の機能を測定する。PETより手軽だが、
画像は荒い。

維持期診療

精神 せいしん

精神障害者保健福祉手帳
同意語
精神疾患によって日常生活が困難な状態(1級)、困難を伴うが何とか
可能な状態(2級)、ほとんど支障がない状態(3級)に対して手帳が交付
され福祉制度の利用が可能となる。

維持期診療

正中まではみる せいちゅうまでみる

正中まではみる
同意語
麻痺の際に四肢の麻痺側から正中までの眼球運動ができる事をいう。

急性期診療情報 回復期診療情報

整容 せいよう

整容
同意語
歯ブラシ、口濯ぎ、入浴、手洗い、服を着、髪をとかすなどをあわせて整容という。

回復期リハ 維持期リハ

舌運動 ぜつうんどう

舌運動
同意語
舌の動き。前方への突出しは口を開けた状態で観察できるため、これを評価指標とすることが多い。前歯やその歯肉に押し当てる、上顎に押し付ける、浮かすが付けない、後方へそらす、上顎との間でしごく、左右に押し付ける、奥に食事を送り込むなどの運動は口をあけては困難なため内視鏡(VE)やレントゲン(VF)で観察する。

病院歯科 維持期歯科

舌苔 ぜつたい

舌苔
同意語
舌の表面に付着したもの。食事カスや細菌。ただし正常な舌の表面は乾燥によって白色になるためこれを舌苔と誤認しないこと。

急性期看護 病院歯科 回復期看護
維持期歯科

背もたれ無しで座位がとれる せもたれなしでざいがとれる

背もたれ無しで座位がとれる
同意語
座位をとり、支えなしで保持できること。

急性期診療情報 回復期診療情報

ゼリーなどのみ試行 ぜりーのなどのみしこう

ゼリーなどのみ試行
同意語
半固形物による食事を試しているが、見守りが必要なことを示す。

セルフケア

せるふけあ

セルフケア

同意語

衣服の着脱、歯磨き、洗顔、入浴などの総称。

維持期リハ

先行期

せんこうき

嚥下の先行期

同意語

これから摂食する食物の性状を認知することにより、食べ方・唾液分

泌・姿勢といった摂食に必要な準備を整える時期。

病院歯科

センサー

せんさー

センサー

同意語

転倒のリスクが高く、離床時に見守りなどが必要なことを示す。

急性期看護

回復期看護

咀嚼嚙む機能(機能歯数)

そしゃくきのう

1

咀嚼嚙む機能(機能歯数)

同意語

食物をかむことに使用できる歯の数を機能歯数という。

上下にそろって

いることが必要。

維持期歯科

体温

たいおん

体温

同意語

体温は部位によって正常範囲が異なるため、体温計に指定された部位

で測定する。わきの下で37.0度以下が正常。

急性期看護

回復期看護

体幹抑制

たいかんよくせい

体幹抑制

同意語

医療処置中の安全のために体幹の抑制が必要なことを示す。

体重

たいじゅう

体重

同意語

身長と体重によって栄養量、薬剤の投与量などを決める。

回復期看護

多剤耐性緑膿菌

たざいたいせいりよくのうきん

multidrug resistant Pseudomonas aeruginosa

多剤耐性緑膿菌

同意語

多くの抗生物質が効かない緑膿菌による感染症。

急性期診療情報

回復期診療情報

他者への意思の伝達

たしゃへのいしのでんたつ

他者への意思の伝達

同意語

自分の意志を他人に伝えること。Yes/Noのみの伝達を含む。

回復期看護

立ち上がり

たちあがり

立ち上がり

同意語

座位から立位に姿勢を変えること。

急性期リハ

脱失

だっしつ

脱失

同意語

感覚が完全に消失していること。

急性期診療情報

回復期診療情報

端座位

たんざい

端座位

同意語

ベッドの端に座ること。イスよりも安定性に欠ける。

急性期リハ
リハ

急性期リハ

回復期

痰・咳 たんせき

痰・咳
同意語
痰を伴う咳は肺炎の危険性を伴う。口腔からの誤嚥や、逆流性食道炎による誤嚥などのチェックが必要。

予防

タンパク制限 たんぱくせいげん

タンパク制限
同意語
腎機能の低下などによって食事中的蛋白量を制限する必要があることを示す。

急性期看護 回復期看護

断眠 だんみん

断眠
同意語
睡眠が朝まで継続しないこと。頻尿、眠りが浅い、痛みがある、不安があるなどで睡眠が中断される。せん妄の危険因子。

回復期看護

地域連携診療計画管理算定 ちいきれんけいしんりょうけいかくか

ちいきれんけいしんりょう
んりさんていか

地域連携診療計画管理算定可
同意語
診療報酬で定める脳卒中地域医療連携パスの適用基準を満たしていることを示す。

急性期診療情報

着脱のどちらかができる ちゃくだつのどちらかができる

自分で義歯の着脱する、または外す
同意語
義歯を付ける、または外すことができるが、両方はできない。

病院歯科

注意障害 ちゅういしょうがい

注意障害
同意語
注意を集中できないこと。一つの行為をしている最中に他のことが気になり、それまでしていたことを忘れてしまう。

回復期リハ

昼夜逆転 ちゅうやぎやくてん

昼夜逆転
同意語
睡眠リズムの障害によって、夜起きていて、昼間眠ること。社会的交流障害の一つ。

急性期看護 回復期看護

聴覚 ちょうかく

聴覚
同意語
音を聞く能力。

回復期リハ 維持期診療

杖 つえ

杖
同意語
歩行に杖を使うこと。一本杖、上腕の支えを加味した口フストランド杖（患肢にかかる力が2/3になる）、ついた時の安定性を増した多脚杖などがある。

回復期看護

DM食 でいえむしょく

糖尿病食
同意語
糖尿病患者に必要なカロリー制限を行った食事。

急性期看護 回復期看護

TG(mg/dl) ていじー

Triglyceride
トリグリセライド
同意語
中性脂肪の大部分を占めるのがトリグリセライド。

予防

TPN ていびいえぬ

Total parenteral nutrition
中心静脈栄養
同意語
高カロリー輸液による栄養療法です。鎖骨下静脈、内頸静脈、股静脈

などにチューブを留置する方法です。

急性期診療情報 急性期看護 回復期

急性期診療情報

DVT でいぶいてい

Deep vein thrombosis

深部静脈血栓症

同意語

特に下腿深部静脈の血栓性閉塞により静脈の還流障害、肢のうっ血を来すもの

急性期診療情報

「手を挙げて」の指示が入る てをあげてのしじがはいる

「手を挙げて」の指示が入る

同意語

単純な動作として「手を挙げて」と指示し、支持を理解して動かせるか、動かせるが指示がわからないか、動かせないかをみる。

急性期診療情報

回復期診療情報

TUG ていゆーじー

Trained “Up and Go” test

基本的機動性とバランス操作の客観的評価

同意語

立ち上がり→歩行(3m先の目標物旋回)→座り込みの連続動作の時間を表します

維持期リハ

転倒 てんとう

転倒

同意語

立位からこけること。

急性期看護

回復期看護

手が乳頭に挙がる てがにゆうとうにあがる

手が乳頭に挙がる

同意語

少なくとも一方の手が乳頭の高さまで上がることを示す。

急性期診療情報

転落 てんらく

転落

同意語

イスやベッドなどから落ちること。

急性期看護

回復期看護

摘便 てきべん

摘便

同意語

肛門に指を挿入し、たまっている便をほじりだすこと。

急性期看護

トイレ といれ

トイレ

同意語

排便排尿の自立度を示す。

回復期リハ

維持期リハ

デク でく

褥そう

同意語 褥そう(じよくそう)

「decubitusでくいびてす」の略

回復期看護

トイレ動作 といれどうさ

トイレ動作

同意語

下半身の衣服をずらし、排尿排便後の処理をし、衣服を整える事。座る

・立つは含めない。

維持期リハ

回復期リハ

手指 てゆび

手指

同意語 手指(しゆし)

糖尿病 とうにょうびょう

糖尿病

同意語

体内での糖分の利用がうまく行かない状態。生活習慣とは関係のない

1型と生活習慣と関連の深い2型がある。

急性期診療情報 回復期診療情報 維持期診療

特殊疾患 とくしゅしっかん

脳卒中関連特殊疾患
同意語
脳卒中と密接な関係を持ち、特別な注意をもって診療しなければならぬ疾患

急性期診療情報

「時計」が呼称できる とけいがこしょうできる

「時計」が呼称できる
同意語
身近な物品として「時計」の名称がわかり、その機能がわかっているかを調べる。

急性期診療情報 回復期診療情報

どちらかの手を胸元まで持ち上げられる どちらかの手を胸元まで持ち上げてもらえる

どちらかの手を胸元まで持ち上げられる
同意語
胸元とは首のすぐ下を指す。前開きの衣服が着脱できる。

急性期看護 回復期看護

ナースコール なーすこーる

ナースコール
同意語
自分の欲求を伝える際にナースコールを押して呼べることを示す。

回復期看護

内部 ないぶ

内部身体障害
同意語
心臓機能障害、呼吸器機能障害、じん臓機能障害、ぼうこう又は直腸機能障害、小腸

維持期診療

何かにつかまればできる なにかにつかまればできる

何かにつかまればできる

同意語
伝い歩きで歩行が可能であることを示す。

急性期看護 回復期看護

なんとか聞き取れる なんとかききとれる

なんとか聞き取れる
同意語
発語が可能であり、努力すれば聞き取れる状態であることを示す。

急性期診療情報

何とかそる なんとかそる

何とかそる
同意語
充分ではないが、そっていることをはっきりと認識できる程度に動くこと

急性期診療情報 回復期診療情報

何とか伸びる なんとかのびる

何とか伸びる
同意語
充分ではないが、そっていることをはっきりと認識できる程度に動くこと

急性期診療情報

何とか曲がる なんとかまがる

何とか曲がる
同意語
充分ではないが、そっていることをはっきりと認識できる程度に動くこと

急性期診療情報 回復期診療情報

何とか指が1本ずつ曲げ伸ばしできる なんとかゆびがいつぼんずつまげのしきれる

何とか指が1本ずつ曲げ伸ばしできる
同意語
指が全体としてではなく一本一本を区別して動かせるが、時間がかか

回復期診療情報

日常的なコミュニケーション手段 にちじょうてきなこみゆ

にけーしょんし

ゆだん

寝返りできる

同意語

自力では座位をとれないが、自力で寝返りできることを示す。寝返りできない場合は褥瘡発生の危険性が高まる。

急性期看護

回復期看護

日常的なコミュニケーション手段
同意語
意志の伝達に使用している方法。

回復期リハ

入浴(洗い動作)

にゆうよくあらいどうさ

脳MRI・MRA)

のうえむあーるあいえむあーるえい

入浴(洗い動作)
同意語
身体の各部を洗うこと。

回復期リハ

維持期リハ

脳MRI・MRA)

同意語

脳を核磁気共鳴画像法で撮影したものがMRI。その際にコンピュータ処理により血管の走行がわかるようにしたものがMRA

予防

尿蛋白

にようたんぱく

脳血管障害

のうけっかんしょうがい

尿蛋白
同意語
正常では尿中にアルブミンは含まれない。腎機能障害で早期から起こる。

予防

脳血管障害

同意語

脳の血管に狭窄や動脈瘤や動静脈奇形などの異常があること。

回復期診療情報

尿中アルブミン

にようちゆうあるぶみん

脳梗塞

のうこうそく

尿中アルブミン
同意語
正常では尿中に蛋白は含まれないか、ごく微量である。腎機能障害や膀胱などの感染で起こる。

予防

脳梗塞

同意語

脳動脈が詰まって起こる。発症直後では血栓溶解療法(t-PA)の適応となることもある。

急性期診療情報

尿路感染

にようろかんせん

脳出血

のうしゅっけつ

尿路感染
同意語
腎盂から尿管、膀胱、尿道に至る部分におこった感染。通常は膀胱でおこる。腎盂で起こると発熱する。

急性期診療情報

回復期診療情報

脳出血

同意語

脳内で出血がおこったもの。出血量と出血の部位によっては手術が第一選択となる。

急性期診療情報

認知症

にんちしょう

嚢状脳動脈瘤

のうじょうのうどうみゃくりゅう

認知症
同意語
いったん正常に発達した知能が低下した状態。

回復期診療情報

回復期リハ

嚢状脳動脈瘤

同意語

脳の動脈の一部が膨れた状態になったもの。動脈壁の弾力性を生み圧力を支える中膜の損傷でおこる。未破裂ではほとんど症状を出さないが、破裂の危険が高い。

寝返りできる

ねがえりできる

急性期診療情報

脳動脈奇形

のうどうみやくきけい

脳動脈奇形

同意語

脳動脈の走行が異常であったり、一部が先天的に共
作したり欠損して

いたりする状態。脳卒中を起こしやすい。

急性期診療情報

肺炎

はいえん

肺炎

同意語

肺に炎症が起こること。多くの場合細菌やウイルスなど
による感染があ

る。脳卒中では誤嚥によるものが関連性が高く再発し
やすい。

急性期診療情報
歯科

回復期診療情報

維持期

肺炎の既往

はいえんのきおう

肺炎の既往

同意語

現在は治癒しているが、かつてかかったことがあること
を既往という。

病院歯科

徘徊

はいかい

徘徊

同意語

歩き回って帰れなくなる。目的を忘れたり目的が変
わったりして道に

迷う場合と、目的ははっきりしているが道順がわからな
くなる徘徊があ
る。

急性期看護

回復期看護

排泄

はいせつ

排泄

同意語

排尿と排便を含めたもの。

回復期リハ

バイタルサイン

ばいたるさいん

バイタルサイン

同意語

血圧、脈拍、体温をまとめてバイタルサインという。時
に呼吸数と呼吸
様式を含む。

急性期看護

梅毒

ばいどく

syphilis

梅毒

同意語

梅毒トレポネーマによる感染。現在は院内感染となる
危険性はほとん
どなく、通常の扱いで良い。

急性期診療情報

回復期診療情報

排尿

はいによ

排尿

同意語

尿を出すこと。

回復期リハ

維持期リハ

排便

はいべん

排便

同意語

便を出すこと。

回復期リハ

維持期リハ

改定版長谷川式簡易知能評 価スケール

はせがわしき

改定版長谷川式簡易知能評価スケール

同意語

改定版長谷川式簡易知能評価スケール(か

いていはせがわ

認知症のスクリーニングに使用するが、軽度の認知症

ではテストへの

協力を得ることが難しい。

回復期診療情報

「パ」「タ」「カ」がしっかり聞き取
る
ぱたかがしっかりききとれ
れる

「パ」「タ」「カ」がしっかり聞き取れる

同意語

くちびる(パ)、舌の先端部分(タ)、舌の付け根部分
(カ)の動きを知る

テスト

急性期診療情報	回復期診療情報	Body mass index ボディマス指標 同意語 体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)。(WHO:25以下正常。30以下過剰体重。30以上肥満)(日本:18.5未満低体重。22以下標準体重。25以上肥満)
発話	はつわ	予防
発話 同意語 自分の意志を口に出して伝えられること。		
回復期リハ		
半側空間失認	はんそくくうかんしつにん	PO Peroral 経口摂取 同意語 経口摂取(けいこうせつしゅ)
半側空間失認 同意語 半盲は視野の半分が見えないことを言い、見えない部分があることを 自覚しているが、半側空間失認では見えていないことを気づかないか、 見えていても認識できない。例えば右の半側空間失認では、左側にお かれた食事は見えているはずなのに、その右側半分に手を付けず完 食したという。		ピーおー
急性期診療情報	回復期診療情報	PT Physical therapist 理学療法士 同意語 物理的手段を用いて運動機能の回復・改善をめざす国家資格を持った人。 急性期診療情報
半側空間無視	はんそくくうかんむし	
半側空間失認 同意語 半側空間失認(はんそくくうかんしつにん)		BDR指標 Brushing Denture Rinsing scale 口腔清掃の自立度判定指標 同意語 口腔ケアの自立度を判定する指標 病院歯科
急性期リハ		ピーでいあーるしひょう
半側空間無視障害	はんそくくうかんむししょうがい	非音声 非音声 同意語 声掛け以外の手段でコミュニケーションをとる必要があること。 回復期リハ
半側空間失認 同意語 半側空間失認(はんそくくうかんしつにん)		ひおんせい
回復期リハ		
Br.stage	びーあーるすてーじ	
<u>Burnnstrom recovery stage</u> ブルンストロームステージ 同意語 麻痺からの回復過程を示すもの。I 力が入らない状態、からVIほとんど正常、までの過程をたどる。 急性期リハ	回復期リハ	
BMI	びーえむあい	鼻腔 鼻腔経管 同意語 経鼻胃管(けいびいかん) 本来は鼻の穴から奥に広がるスペース。吸気の温度と湿度を調節し浮遊物を除去することと臭いをかぐことが主な役目。言葉を響かせる作用もある。経鼻胃管の意味で使われることもある。

急性期看護

回復期看護

回復期看護

回復期リハ

非経口

ひけいこう

非経口

同意語

栄養を口からとれないことを示す。

急性期診療情報

膝の伸ばし

ひざのまげのばし

膝の伸ばし

同意語

膝をまっすぐ伸ばすこと

急性期診療情報

回復期診療情報

肘と手が一緒に口の高さに拳 のたかさに

がる

あがる

肘と手が一緒に口の高さに拳がる

同意語

肩関節を拳上できることを示している。高いところに手を伸ばすこと以外

の上腕の日常生活動作にほぼ支障がないことを示す。

急性期診療情報

肘と手が一緒に手が乳頭に拳 うとうにあがる

がる

肘と手が一緒に手が乳頭に拳がる

同意語

肩関節を60度以上屈曲(肘を拳上)できること。何とか一人で食べられ

る。髪の毛は梳かせない。

回復期診療情報

左マヒ

ひだりまひ

左マヒ

同意語

左手と左足がマヒしていること。

急性期診療情報

回復期診療情報

筆談

ひつだん

筆談

同意語

コミュニケーションを書き言葉で行うこと。

PT-INR

ぴていあいえぬあーる

prothrombin time-international normalized ratio

プロトロンビン時間国際標準比

同意語

外因系凝固活性化機序を測定したものを使用する試薬に応じて補正し

たものです。正常値1.0。ワーファリン治療では2から3にします。

予防

病院歯科

表出

ひょうしゅつ

表出(音声・非音声)

同意語

言語・表情・指の動き・息遣いなどで自分の意志を伝えることができる

こと。

急性期診療情報

回復期診療情報

表出(音声・非音声)

ひょうしゅつおんせいひおんせい

表出(音声・非音声)

同意語

自分の意志や感情を表現すること。しゃべることができない場合に使用。

急性期リハ

維持期リハ

VE

ぶいいー

Video endoscopic examination of swallowing

内視鏡下嚥下テスト

同意語

急性期リハ

回復期リハ

維持期

歯科

VF

ぶいえふ

Vido fluoroscopic examination of swallowing

透視下嚥下テスト

同意語

急性期リハ

回復期リハ

維持期

歯科

回復期リハ

VDS

ぶいでいえす

venereal disease syphilis

梅毒
同意語 梅毒(ばいどく)

FIM ふいむ

Functional independence measure
機能的自立度評価表
同意語
運動と認知を評価

急性期リハ

不穩 ふおん

不穩
同意語
落ち着きのないこと。せん妄の一つの症状として出現することもある。
見当識の低下、痛みや気分不快などの存在に注意。

急性期看護 回復期看護

ブクブクうがいをする ぶくぶふうがいをする

ブクブクうがいをする
同意語
BDR(口腔ケアの自立度)の評価におけるうがい(R)評価

病院歯科

不潔 ふけつ

不潔
同意語
社会的交流障害の一つとして不潔な行為が見られること。

急性期看護 回復期看護

不整脈 ふせいみやく

不整脈
同意語
心臓の動きが不規則であること。脈拍は心臓が十分な血液を送り出した場合のみ触れるので、脈拍と心電図の結果は必ずしも一致しない。
定期的な心電図検査が必要。心房細動では脳梗塞の再発リスクが高まる。

急性期看護 回復期看護 維持期
診療

部分床義歯 ふぶんしょうぎし

部分床義歯
同意語
残存歯の状況に合わせて数本以上の義歯をセットにしたもの。

病院歯科

部分的には自分で磨く ぶぶんてきにはじぶんでみがく

部分的には自分で磨く
同意語
BDR(口腔ケアの自立度)の評価における歯磨き(B)評価

病院歯科

不眠 ふみん

不眠
同意語
睡眠に障害があること。昼夜逆転のようにリズムの異常、入眠しにくいこと、途中で目が覚めてしまうこと、眠っているのに満足感が無かったり寝ていないと主張したりすることなどを総称している。

回復期看護

プラザキサ ぷらざきさ

プラザキサ
同意語
直接トロンビン阻害薬。直接作用するのでワーファリンよりコントロールしやすいが、のみ忘れや過剰内服の影響が大きい。

予防

プラビックス ぷらびっくす

プラビックス
同意語
血小板凝集抑制薬。

予防

プレタール ぷれたーる

プレタール
同意語
EPA製剤。動脈の柔軟性維持。コレステロールの低下。血液凝固の抑制。副作用は吐き気や胸焼け、下痢、便秘など。

予防

平衡 へいこう

平衡
同意語

平衡感覚のこと。内耳、小脳、および身体筋力のバランスの失調でふらつきを生じる。

維持期診療

ベッド上動作 べつどじょうどうさ

ベッド上動作
同意語

寝返り、ずり上がり、腰浮かし、起き上がりなどの動作

回復期リハ

venereal disease syphilis べるねらるでいじーずしふいりす

venereal disease syphilis

梅毒
同意語 梅毒(ばいどく)

暴力 ぼうりよく

暴力
同意語

社会的交流障害の一つとして周囲の人に乱暴な行為をすること。

急性期看護 回復期看護

歩行 ほこう

歩行
同意語

歩く能力。床面が平らな屋内歩行、段差・階段歩行、さまざまな変化がある屋外歩行の区別と、距離による区別を行う。

急性期リハ 維持期リハ

歩行器 ほこうき

歩行器
同意語

4脚のフレームを持つ歩行自助具。

回復期看護

補聴器 ほちようき

補聴器
同意語

音を大きくする補聴器と頭蓋骨に響かせる骨導式補聴器がある。

回復期看護

ほぼ自分で磨く ほぼじぶんでみがく

ほぼ自分で磨く
同意語

BDR(口腔ケアの自立度)の評価における歯磨き(B)評価

病院歯科

麻痺 まひ

麻痺
同意語

神経伝達が阻害されている状態。感覚として感じないこと(脱失)から鈍

いこと(鈍麻)あるいはしびれなど異常な感覚があり、運動として力が入

らない弛緩性まひと痙性まひがある。

予防

マヒ側をみる まひそくをみる

マヒ側をみる
同意語

半側空間無視の際に麻痺側まで眼球運動が保たれていること。脳内

の障害部位の推測に重要な情報。

急性期診療情報 回復期診療情報

右マヒ みぎまひ

右マヒ
同意語

右手と右足がマヒしていること。

急性期診療情報

右マヒ みぎまひ

右マヒ
同意語

左手と左足がマヒしていること。

回復期診療情報

水のみテスト

みずのみテスト

水のみテスト

同意語

嚥下機能を見る検査。適度な硬さを持った食事(ペースト食)より水の
方が嚥下しにくいですが誤嚥時に肺炎を起こす危険が少ないため、食事の
経口摂取の目安として実施する。

急性期リハ

回復期リハ

水を口に含むことも出来ないみずをくちにふくむこともできない

水を口に含むことも出来ない

同意語

BDR(口腔ケアの自立度)の評価におけるうがい(R)評価

病院歯科

水を口に含む程度はするみずをくちにふくむていどはする

水を口に含む程度はする

同意語

BDR(口腔ケアの自立度)の評価におけるうがい(R)評価

病院歯科

ミトン

みとん

ミトン

同意語

行動抑制にミトンが必要であることを示す。

急性期看護

回復期看護

未破裂動脈瘤

みはれつどうみやくりゅう

未破裂動脈瘤

同意語

未破裂動脈瘤は多くの場合無症状である。その位置と
大きさによって
危険性を判断できる。危険性が高い場合は塞栓術や
手術されることも
ある。

急性期診療情報

見守り

みまもり

見守り

同意語

常に介護が必要ではないが、時として支援が必要なこ
とを見守りという

。例えば概ね一人で歩けるが、ふらつきがある場合には歩行に際して

見守りが必要となる。

急性期看護

肥満

みまん

肥満

同意語

肥満が糖尿病や動脈硬化と密接に関係する。日本ではBMIが25以上

を肥満としている。18以下も寿命が短くなる。

維持期診療

脈拍

みやくはく

脈拍

同意語

動脈の拍動をふれること。手首、肘、頸部、足の甲、膝の裏、股の付け

根などで触れる。足の甲は動脈硬化の指標として使われる。

急性期看護

回復期看護

眠剤

みんざい

睡眠導入剤

同意語

眠りを誘う超短時間型から、朝まで効果が持続することを狙った長時間型まである。

回復期看護

むせ

むせ

むせ

同意語

軽度の嚥下障害があり、時にむせることを示す。肺炎の危険状態。

維持期歯科

胸元 むなもと

胸元
同意語
首のすぐ下を指す。

急性期看護 回復期看護

同意語

指を曲げる筋肉は浅指屈筋と深指屈筋にわかれ、浅指屈筋は指を一

本ずつ動かせるが、深指屈筋は一緒に動く。第2指から5指の伸筋は一

体となって動くが訓練で分離できる。

急性期診療情報

もやもや病 もやもやびょう

もやもや病
同意語
脳動脈の奇形(ウィリス動脈輪閉塞とそれを代償する細い血管の増生)により、梗塞や出血がおこりやすい状態。

急性期診療情報

指全体のまとまった曲げ伸ばし ゆびぜんたいのまとまったまげのば

しのみ しのみ

指全体のまとまった曲げ伸ばしのみ

同意語

指の細やかな運動ができないことを示す。

急性期診療情報 回復期診療情報

問題解決 もんだいかいけつ

問題解決
同意語
問題解決とは複雑な、あるいは深刻な問題ではなく、日常生活での課題の解決力と考える。つまり食材を手に入れる、ごみを捨てるなどと言う。

回復期リハ 維持期リハ

浴槽・シャワー よくそうしゃわー

浴槽・シャワー

同意語

[FIM](#)では入浴動作は体の各部を洗うことであるが、実際の入浴では浴

槽を使うためには高い移動能力と座位保持能力とある程度の心肺機

能が必要になる。一方シャワー浴ではそれらの負担はずっと軽く、入浴

方式の伝達が重要である。

維持期リハ 回復期リハ

問題行動 もんだいこうどう

問題行動
同意語
社会的交流の障害を意味する。大きな声を出す、暴言を吐く、暴れる、性的なしぐさをする、不潔行為をするなど。

急性期看護 急性期リハ 回復期リハ

よだれ よだれ

よだれ

同意語

顔面神経の麻痺による口唇運動障害を示す。

予防

夜間せん妄 やかんせいんもう

夜間せん妄
同意語
夜間にせん妄がみられること。せん妄は夜間におこる頻度が高い。せん妄の誘因に不安があり、周囲の刺激が減ること、真暗になることなどが不安をあおるとも考えられている。

急性期看護 回復期看護

4点柵 よんてんさく

4点柵

同意語

ベッドの周囲を柵で隙間なく囲むこと。転落防止として使用する抑制の一種。

急性期看護 回復期看護

指が1本ずつ曲げ伸ばしきれる ゆびがいつぽんずつまげのばしきれる

指が1本ずつ曲げ伸ばしきれる

ラクナ梗塞 らくなこうそく

ラクナ梗塞

同意語

動脈硬化によって脳内の細い血管が詰まっておこる。自覚症状が無い

ことも多い。

急性期診療情報

syphilis

梅毒

同意語 梅毒(ばいどく)

理解

りかい

理解

同意語

情報を受け取り、解釈し、実行する能力。正常とは小学校卒業程度の

状態を言う。納得していないこと、認めたくないことでは指示を守らなくて

も理解の低下とは言わない。

急性期診療情報
リハ

回復期診療情報

維持期

リスク因子

りすくいんし

危険因子

同意語

疾病発生および増悪の要因。リスクファクターともいう。

回復期診療情報

立位

りつい

立位

同意語

立っていること。つかまり立ちを含む。

急性期リハ

回復期リハ

留置カテーテル

りゅうちかてーてる

膀胱留置カテーテル

同意語

先端部分が膨らみ抜けにくくしたカテーテル。膀胱から尿を体外に出す

ために使用。留置には感染の危険を伴う。

急性期看護

両マヒ

りょうまひ

両マヒ

同意語

左右どちらか一方の片マヒに対して両側がマヒしていることを示す。大

脳の表面や脳幹部では片マヒとなるが、大脳中心前回の病変と脊髄の

障害では両マヒとなる。

急性期診療情報

回復期診療情報

lues

る一えす

ROM

ろむ

Range of movement

関節可動領域

同意語 関節可動領域(かんせつかどうりょういき)

関節を痛みなく動かせる範囲です。

急性期リハ

回復期リハ

呂律障害

ろれつしょうがい

呂律障害

同意語

構音障害によって滑らかにしゃべれなくなること。「パ・ダ・カ」でテストする。

予防

ワーファリン

わーふぁりん

ワーファリン

同意語

抗凝固薬。

予防

ワーファリン食

わーふぁりんしょく

ワーファリン食

同意語

ワーファリンの作用に拮抗するビタミンKが少ない食事

急性期看護

回復期看護

わずかにそる

わずかにそる

わずかにそる

同意語

指示に対してかすかに足関節が背屈できること。

回復期診療情報

急性期診療情報

わずかに曲がる

わずかにまがる

わずかに曲がる

同意語

指示に対して股関節をかすかに動かせること。

急性期診療情報

回復期診療情報

指示をしても傾いている 指示をしてもかたむいている

指示をしても傾いている

同意語

座位での体幹の傾きを自分の力では戻せないこと。

急性期診療情報

回復期診療情報

解説集

BDR指標

口腔清掃の自立度判定基準(BDR 指標)				
項目	自立	一部介助	全介助	介護困難
B Brushing (歯磨き)	a. ほぼ自分で磨く	b. 部分的には自分	c. 自分で磨かない	有無
	1. 移動して実施する	1. 座位を保つ	1. 座位、半座位をとる	
	2. 寝床で実施する	2. 座位は保てない	2. 半座位もとれない	
D Denture wearing (義歯着脱)	a. 自分で着脱する	b. 外すか入れるかどうかはする	c. 自分では全く着脱しない	有無
R Mouth rinsing (うがい)	a. ブクブクうがいを する	b. 水は口に含む程 度はする	c. 口に含むことも できない	有無
寝たきり度の口腔衛生指導マニュアル作成委員会. 1993				

Burnnstrom recovery stage

Burnnstrom recovery stage		
Stage I	弛緩性まひ	まったく力が入らない
Stage II	連合反応の出現	他の部位への刺激や動作につられて少し動く。
Stage III	共同運動パターンの出現	連合反応が一定パターンで出現する。筋肉が固くなる。
Stage IV	分離運動の出現	協働運動では複数の関節が同時に動くが、一つ一つの関節の動きが可能になる。
Stage V	分離運動の進行	共同運動の出現が減少し一つ一つの関節を動かせる。
Stage VI	ほぼ正常運動	共同運動は見られない。

SLTA標準失語症検査

SLTA標準失語症検査			
大項目	小項目	評価	
聴く	単語の理解		
	短文の理解		
	口頭命令に従う		
	かなの理解		
話す	ものの名前		
	単語の復唱		
	動作の説明		
	まんがの説明		
	文の復唱		
	語の列挙		
	漢字・単語の音読		
	かな1文字の音読		
	かな・単語の音読		
	短文の音読		
	読む	漢字・単語の理解	
		かな・単語の理解	
		短文の理解	
書字命令に従う			
書く	漢字・単語の書字		
	かな・単語の書字		
	まんがの説明		
	かな1文字の書きとり		
	漢字・単語の書きとり		
	かな・単語の書きとり		
	短文の書きとり		
計算			

評価は1-6の6段階です。

糖尿病はエネルギー代謝がうまくできなくなる病気です。

食事は消化液によって分解されて体に取り込まれます。でんぷんや砂糖などはブドウ糖に分解されます。すぐに使わないブドウ糖はインスリンの働きによって肝臓や筋肉に蓄えられます。

血中に余分なブドウ糖が存在すると動脈硬化、[脳卒中](#)、心筋梗塞、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症、神経障害、感染症などが発生しやすくなります。

糖尿病の治療の第一は余分な糖分をとらないこと、とった養分を速やかに使うことです。つまり食事制限と運動の励行です。その上で薬を使います。

タバコは厳禁です。

アルコールもできるだけ控えます。

糖尿病は1型と2型に区別されています。

1型は発症時からインスリンの分泌能力が著しく減少します。

劇症型といわれるものは全く正常から1週間もかからずにインスリン注射なしでは死んでしまう状態になります。免疫反応（自己免疫）が急速に進んで膵臓のインスリン分泌を不可能にするタイプと、免疫反応が明瞭でないタイプがあります。生活習慣とは関係ありません。

インスリン注射と生活の工夫でかなりうまく暮らせます。

2型は徐々に糖代謝がうまくいかなくなります。

原因は様々だと思われます。生活習慣だけで発症するわけではなく、何らかのきっかけ（例えば遺伝や感染など）があるはずですがさまざまな因子が関係しています。病気の進行には生活習慣が大きくかかわります。完全に治すことは不可能ですが、進行を遅らせることは可能です。

治療は、食事制限と運動・内服薬治療・インスリン注射です。

病気の進行に合わせて上記の順番に治療法が進みます。ただし妊娠、手術、感染などによって一時的に悪くなり次の段階に進んでもそれを乗り切れば元に戻ります。

つまりインスリン注射を適切な時期に適切に使うと病態がよくなりますが、開始時期が遅れるとどんどん進行して取り返しがつかなくなります。

糖尿病による目の病気

糖尿病性網膜症、白内障、緑内障などが起こります。

どれもが失明の危険のある病気です。

どれもが進行するまで気づきにくい病気です。

血糖のコントロールが比較的よくても、発症することがあります。

糖尿病性網膜症は目の奥の網膜の血管が障害される病気です。

網膜とは目の奥にあって、光の信号を神経の刺激に変える部分です。網膜の表面の血管が障害されて病気が進行します。網膜が障害され神経が死んでしまうと治す方法はありません。障害された血管から出血すると眼の中の圧力が上がる緑内障が進みます。

白内障は水晶体という眼のレンズ部分が白く濁ってくる病気です。

点眼薬で進行を遅らすことはできますが、白濁をとることはできません。手術が必要です。少々の濁りではほとんど自覚症状は出ません。蛍光灯などを見たときに黄色く見えたり、くっきり見えにくくなったりします。

緑内障は眼圧が高くなって目が見えなくなる病気です。

目の中は房水という水で潤っています。これは絶えず湧き出し、その分だけ汲みあげて新鮮な状態です。汲み上げがうまくいかなくなると圧力が高まります。

圧力が高まると目の痛みや頭痛が出るが多くなります。放置すると失明します。

糖尿病では自覚症状がなくても年1～2回の定期的な眼科受診が必要です。

糖尿病性腎症

現在透析が必要となる方の最も多い原因が糖尿病です。糖尿病性網膜症と糖尿病性腎症は細い血管が障害されて起こるので細血管障害とも呼ばれます。

腎臓の尿を作る部分（糸球体）は細い血管がぐるぐる巻きになっています。糖尿病ではこの欠陥が損傷されて毒素を排泄できなくなります。

糸球体は1つの腎臓に数百万個もありますから、少々のダメージでは目立った影響は出ません。かなり進行して余力を全部使いきって後戻りできないところまで自覚症状は出ません。

糸球体が痛むとまずアルブミンが尿の中に漏れ出てきます。これが最初の変化です。

次に血液中のクレアチニンと尿素窒素が上昇し始めます。

つまり血液と尿の定期的な検査が必要です。

糖尿病による動脈硬化

糖尿病による動脈硬化は細い動脈にも、中ぐらいの動脈にも、太い動脈にも起こります。

細い動脈で起こるのが糖尿病性網膜症や糖尿病性腎症です。

中ぐらいから太い動脈では粥状硬化（アテローム硬化）が起こります。

粥状の柔らかいもの（アテローム）が動脈を詰まり気味にします。ここでは血がよどみ、血が固まりやすくなります。流れにくくなると圧力が高まり、アテロームがはがれ、時にはそこにできていた小さな血の塊（血栓）も流されます。これが動脈の先の方で詰まると塞栓と言われます。脳で起きると脳梗塞になります。心臓なら心筋梗塞、肺なら肺梗塞です。指などなら壊死です。アテロームがはがれると血を固める作用のある外膜に血がふれるので急速に血が固まってしまうことがあります。さらに塞栓の危険が高まります。場合によってはその場で血管が完全に詰まったり、血管が破れて出血したりします。脳で起これば脳内出血です。

太い動脈では動脈硬化の進行の際に、中膜に石灰化が起こりとても固くなります。まるで血管が破れるのを防ごうとしているみたいです。

でも石灰化を起こした動脈は弾力性を失い、詰まりやすく、また裂けやすくなり、梗塞や出血が増えるばかりか、大動脈破裂までおこしやすくなります。

タバコはこれらの動脈硬化をさらに起こしやすくします。

糖尿病性神経障害

手足の感覚が鈍くなったり、しびれやすくなったりします。

動脈硬化で血流が悪くなると冷えが出たり、しびれやすくなったりしますが、神経障害でさらに悪くなります。神経障害はブドウ糖をインスリンの力をかりずに分解しようとしたときに増えるフルクトースで進むと考えられます。

糖尿病と感染症

糖尿病が進むと感染症が起こりやすく、治りにくくなると言われています。

免疫力の低下が原因です。

動脈硬化によって血流が悪くなり、褥瘡（床ずれ）が起こると、感染を起こしやすく死の危険性が高まります。

水虫が表皮にとどまらず体の中まで入り込む深部真菌症も起こしやすくなりこちらも死の危険性が高まります。

清潔に気を付けましょう。また爪切りは慎重に行いましょう。

糖尿病の食事

糖分をとりすぎないことが基本です。

でんぷんは分解されて最終的にブドウ糖になります。砂糖も分解されてブドウ糖になります。油は分解されてもブドウ糖になりませんが、分解された後にブドウ糖に合成しなおされます。エネルギー（カロリー）をとりすぎると余った分は巡り巡ってブドウ糖になるのです。

果物の甘みは果糖で、ブドウ糖ではありません。

では果物をたくさん取ればよいのでしょうか？

いえいえ。

糖尿病神経障害の主たる原因は、余った糖をうまく分解できなくて、果糖に変える経路が盛んになることだと言われています。

つまり砂糖の代わりに果物をとることは間違っています。

適切な栄養の取り方はBMIを逆算して求めます。

$BMI = (\text{体重kg}) \div (\text{身長m}) \div (\text{身長m})$

なので、BMIを22にして計算します。身長170cmの場合

$(\text{体重kg}) = 22 \times 1.7 \times 1.7 = 63.58$

これに消費カロリーの係数をかけます。

軽い仕事（事務や家事など）=25~30

立ち仕事や歩き回る仕事=30~35

肉体労働や1時間以上の激しい運動=35~40

例えば先ほどの方が営業マンなら $63.58 \times 30 = 1907.4$ カロリー（1日当たり）となり、事務員だったら1589.5カロリーになります。このカロリーをできるだけ3等分して、8時間ごとに食べるのが理想です。その際にゆっくりよくかんで食べます。

香辛料を控え、食物繊維を多めに薄味にします。香辛料を控えた薄味は素材の甘みを感じやすくなります。食物繊維は血糖値の上昇を緩やかにします。

カロリーの目安には食品交換表を用います。タバコは味覚を鈍らせ、濃い味を好むようになります。禁煙すると当初おなかがすいて食欲が増しますが、タンパク質（魚・肉・卵・牛乳・豆など）をうまく使ってコントロールします。一方摂取カロリーは少なすぎてもいけません。脳はブドウ糖のみをエネルギー源としています。低血糖になるとまず脳が活動できなくなり、意識消失に至ります。多くはふるえなどの症状を伴いますが、いきなり倒れることもあります。

通常は低血糖になりそうときは脂肪を分解してブドウ糖を作りますが、糖尿病ではこの作用が弱く、非常に危険です。

脳卒中

突然意識を失う病気の一群です。発生部位と病気が起こった範囲によって意識消失の程度、その他の症状、予後などが大きく異なります。

脳梗塞：血流が途絶えて意識を失います。

アテローム血栓性脳梗塞：粥状動脈硬化からはがれたアテローム血栓が脳血管で詰まっておこるものです。

ラクナ梗塞：アテローム血栓性脳梗塞を起こす動脈より細い動脈の動脈硬化によりその場で血流が途絶える梗塞です。

心原性梗塞：心臓でできた血栓が脳でつまっておこります。心房細動は心臓内で血栓を生じやすい病気です。そのほか弁膜症などでも起こります。

脳出血：脳の血管が破れて出血して意識を失います。

脳内出血：脳の中で出血する病気です。動脈硬化で起こるものが最も多いのですが、動脈瘤や動静脈奇形によるものもあります。また梗塞と出血が同時におこるものもあります。

くも膜下出血：脳の表面を覆う軟膜とそのすぐ外側を覆うくも膜との間で出血する病気です。

もやもや病：脳動脈の奇形（ウィリス動脈輪閉塞とそれを代償する細い血管の増生）により、梗塞や出血がおこりやすい状態です。アジア人特に日本人に多い病気です。

脳卒中再発予防

生活習慣の改善

禁煙

過度の飲酒を避ける

低コレステロール食

減塩食

体重のコントロール

疾病の治療

高血圧：120/80未満が目標

アンギオテンシン変換酵素阻害薬(ACE)

薬：(高血圧) コバシル、アデカット、プレラン、(高血圧・心不全) オドリック、カプトリル、レニベース、ロンゲス/ゼストリル、チバセン、(高血圧・1型糖尿病性腎症) タナトリルなど。

特長：血圧低下、腎機能の保護、心不全の改善、誤嚥性肺炎の減少など。

副作用：咳など。

アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)

薬：ニューロタン、ディオバン、プロプレス、ミカルディス、オルメテック、アバプロ/イルベタンなど。

特長：血圧低下、心不全の改善など。

副作用：動悸、めまいなど。

カルシウム拮抗薬

薬：非常に多くの種類がある。

特長：すぐれた降圧効果。

副作用：頭痛、動悸(どうき)、むくみ、顔面の紅潮(こうちょう)、便秘など。

血栓・塞栓の予防

血小板凝集抑制薬

薬：バファリン、バイアスピリン、オパルモン、プロレナール、ドルナー、プロサイリン、エパデール、パナルジン、プラビックス、アンプラークなど。

特長：血小板凝集抑制作用により、動脈硬化の局所での血栓形成(白色血栓：血小板は無色なので)を抑制する。

抗凝固薬

薬：ワルファリン、ヘパリン、プラザキサなど。

特長：赤色血栓(赤血球を巻き込んだ血栓)の形成を抑制する。人工弁やステント留置など血管内に人工物を入れた場合、深部静脈血栓症や心房細動など血管内での凝固が促進している場合に使用。

血栓溶解薬(t-PA:組織プラスミノゲン活性化因子とu-PA:ウロキナーゼ)

薬：グルトパ注、アクチバシン注

特長：固まった血栓を溶解する。脳梗塞では予後を決定する重要な治療。時機を逸すると効果がない。

糖尿病の治療

糖尿病は高血圧や動脈硬化の進行、血栓の発生、感染症の増加などと深くかかわり、そのコントロールが重要。

詳細はDM(糖尿病)の項を参照。

GCS/3-3-9度方式

GCS		
反応	評価	評点
開眼(E)	自発的に開眼する(spontaneous)	4
Eye Opening	呼びかけにより開眼(to speech)	3
	痛み刺激により開眼する(to pain)	2
	全く開眼しない(nil)	1
最良言語反応(V)	見当識あり(orientated)	5
Best Verbel Response	混乱した会話 (confused conversation)	4
	混乱した言葉(inappropriate words)	3
	理解不明の音声 (incomprehensible sounds)	2
	全くなし(nil)	1
最良運動反応(M)	命令に従う(obey)	6
Best Motor Respon	疼痛部へ(localises)	5
	逃避する(withdraws)	4
	異常屈曲(abnormal flexion)	3
	伸展する(extends)	2
	全くなし(nil)	1
3つの項目のスコアの合計で評価する		

国際的に汎用されている。意識レベル(E)と見当識(V)と運動(M)の3軸で評価する。

3-3-9度方式 (JCS)		
Grade I	一見、意識清明のようであるが、今ひとつどこかぼんやりしていて、意識清明とは言えない。	1
刺激しないでも覚醒している	見当識障害(時・場所・人)がある。	2
	名前・生年月日が言えない	3
Grade II	普通の呼びかけて容易に開眼する	10
	刺激で覚醒する	20
Grade III	痛み刺激を加えつつ、呼びかけを繰り返すと、かろうじて開眼する。	30
	痛み刺激を払いのけるような動作をする。	100
	刺激しても覚醒しない	200
	痛み刺激に反応しない。	300

日本でのみ使用されている。

正常者は評価対象外 (Grade I は正常ではない)。

GDS-S-J 老年期うつ尺度(短縮版) __ 日本版

The Geriatric Depression Scale - Short Form-Japanese (GDS-S-J)

Translated and Adapted by Morihiro Sugishita (杉下守弘) and Takashi Asada (朝田隆) (2008) from the Geriatric Depression Scale (GDS) in Sheikh JI and Yesavage JA. Clinical Gerontology, 5 (1/2), 165-173, 1986. Copyright © 1986 by NY : The Haworth Press .

教示： 被験者に以下のように教示をしてください。

“このインタビューでは、次に、あなたの感情について質問をいたします。お尋ねする質問のなかには、あなたに当てはまらない質問があるかも知れませんが、また、ある質問はあなたを不快にさせるかもしれません。

今日を含め過去1週間の間に、あなたがどう思ったかに基づいて、各々の質問に対して、“はい”か“いいえ”で答えてください。

はい いいえ

	はい	いいえ	
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	あなたは、あなたの人生に、ほぼ満足していますか？
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	これまでやってきたことや、興味があったことの多くを止めてしまいましたか？
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	あなたは、あなたの人生は空しいと感じていますか？
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	しばしば、退屈になりますか？
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	あなたは、たいてい、機嫌がよいですか？
6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	あなたに、何か悪いことが起ころうとしているのではないかと、心配ですか？
7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	たいてい、幸せだと感じていますか？
8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	あなたは、しばしば無力であると感じていますか？
9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	外出して新しいことをするよりも、自宅にいるほうが良いと思いますか？
10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	たいていの人よりも、記憶が低下していると思いますか？
11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現在、生きていることは、素晴らしいことだと思いますか？
12	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	あなたは、現在のありのままのあなたを、かなり価値がないと感じますか？
13	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	あなたは、元気一杯ですか？
14	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	あなたの状況は絶望的だと、思いますか？
15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	たいていの方は、あなたより良い暮らしをしていると思いますか？

※網掛けのチェックボックス の答えは「うつ」を暗に示す。異なる感度と特異度が諸研究を通じて得られている

けれども、臨床目的としては、6点以上の時は「うつ」を示唆しており、追跡面接をしなければならない。

1 1点以上は、ほとんど常に「うつ」である。

MMSE				
設問	質問内容	回答	得点 (30点満点)	
1	今年は何年ですか？	年		0/1
	今の季節は何ですか？			0/1
	今日は何曜日ですか？	曜日		0/1
	今日は何月何日ですか？	月 日		0/1 0/1
2	この病院の名前は何ですか？	病院		0/1
	ここは何県ですか	県		0/1
	ここは何市ですか	市		0/1
	ここは何階ですか	階		0/1
	ここは何地方ですか？	地方		0/1
3	物品名3個（桜、猫、電車）			0~3
4	100から順に7を引く（5回まで）。			0~5
5	設問3で提示した物品名を再度復唱させる			0~3
6	（時計を見せながら） これは何ですか？			0/1
	（鉛筆を見せながら） これは何ですか？			0/1
7	次の文章を繰り返す「みんなで、力を合わせて綱を引きます」			0/1
8	（3段階の命令） 「右手にこの紙を持ってください」			0/1
	「それを半分に折りたたんで下さい」			0/1
	「それを私に渡してください」			0/1
9	（次の文章を読んで、その指示に従って下さい）「右手をあげなさい」			0/1
10	（何か文章を書いて下さい）			0/1
11	（次の図形を書いて下さい）			0/1
				
		合計		／30点
	正常			27-30
	軽度認知症の疑い			22-26
	認知症の疑いが強い			21以下

長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)					
設問	質問内容	回答	得点		
1	お歳はいくつですか？			0-1	
2	今日は何年の何月何日ですか？何曜日ですか？			下記4項目で採点	
		年			1
		月			1
		日			1
3	私たちが今いるところはどこですか？ (ヒント:自宅・病院・施設)			2	
				1	
4	これから言う3つの言葉を書いて下さい。あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。 1: a) 桜 b) 猫 c) 電車 2: a) 梅 b) 犬 c) 自動車 (1または2のどちらかを出題)			言葉1つにつき1点	
5	100から7を順番に引いてください。	-93		1	
		-86		1	
6	私がこれから言う数字を逆から言って下さい。 6, 8, 2できたら3, 5, 2, 9	2, 8, 6		1	
		9, 2, 5, 3		1	
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度書いてみて下さい。 ヒント: a) 植物 b) 動物 c) 乗り物	a		a/b/c自発的2点 ヒント後1点	
		b			
		c			
8	これから5つの品物を見せます。それを隠しますので何があったか書いて下さい。			1品1点	
9	知っている野菜の名前をできるだけ多く書いて下さい。			6個目から1個1点 最高5点	
		合計			

20点以下で認知症の疑い

うつ病の診断基準

アメリカ精神医学会の基準 (DSM-IV-TR)

A) 以下の症状のうち5つ(またはそれ以上)が同じ2週間の間に存在し、病前の機能からの変化を起こしている。これらの症状のうち少なくとも1つは、(1)抑うつ気分または(2)興味または喜びの喪失である。

注：明らかに、一般身体疾患、または気分不一致な妄想または幻覚による症状は含まない。

(1) その人自身の言明(例：悲しみまたは、空虚感を感じる)か、他者の観察(例：涙を流しているように見える)によって示される、ほとんど1日中、ほとんど毎日の抑うつ気分。

(2) ほとんど1日中、ほとんど毎日の、すべて、またはほとんどすべての活動における興味、喜びの著しい減退(その人の言明、または他者の観察によって示される)。

(3) 食事療法をしていないのに、著しい体重減少、あるいは体重増加(例：1カ月で体重の5%以上の変化)、またはほとんど毎日の、食欲の減退または増加。

(4) ほとんど毎日の不眠または睡眠過多。

(5) ほとんど毎日の精神運動性の焦燥または制止(他者によって観察可能で、ただ単に落ち着きがないとか、のろくなったという主観的感覚ではないもの)。

(6) ほとんど毎日の易疲労性、または気力の減退。

(7) ほとんど毎日の無価値観、または過剰であるか不適切な罪責感(妄想的であることもある。単に自分をとがめたり、病気になったことに対する罪の意識ではない)。

(8) 思考力や集中力の減退、または決断困難がほとんど毎日認められる(その人自身の言明による、または、他者によって観察される)。

(9) 死についての反復思考(死の恐怖だけではない)、特別な計画はないが反復的な自殺念慮、自殺企図、または自殺するためのはっきりとした計画。

B) 症状は混合性エピソードの基準を満たさない。

C) 症状は、臨床的に著しい苦痛、または、社会的、職業的、または他の重要な領域における機能の障害を引き起こしている。

D) 症状は、物質(例：乱用薬物、投薬)の直接的な生理学的作用、または一般身体疾患(例：甲状腺機能低下症)によるものではない。

E) 症状は死別反応ではうまく説明されない。すなわち、愛する者を失った後、症状が2カ月を超えて続くか、または、著明な機能不全、無価値観への病的なとらわれ、自殺念慮、精神病性の症状、精神運動抑止があることで特徴づけられる。

American Psychiatric Association : Diagnostic and statistical manual of mental disorders 4th edition, Text Revision, 2000

(高橋三郎、大野裕、染矢俊幸(訳) : DSM-IV-TR 精神疾患の分類と診断の手引, 医学書院, 2002)

			評価								結果			
			自立		介助分			介助全						
			自完全	自修正	監視	介助最少	中等	介助最大	全介助					
大項目	中項目	小項目	7	6	5	4	3	2	1	得点	小計	中計	大計	
運動項目	セルフケア	食事												
		整容												
		入浴・清拭												
		上半身の更衣												
		下半身の更衣												
	トイレ													
	排泄	排尿												
		排便												
	移乗	ベッド・イス・車												
		イス												
トイレ														
移動	浴槽・シャワー													
	歩行・車イス													
認知項目	シニョケミ ン ー ユ	理解(聴覚・視覚)												
		表出(音声・非音声)												
	認社 識会	社会的交流												
		問題解決												
		記憶												

(1) 運動項目

1 食事の評価

食事が適切に用意された状態（配膳・下膳は含まれない）。

適切な食器を使う。

口に運ぶ動作から咀嚼し、嚥下するまでを評価する。

7点：自分で食器からとって口に運び、咀嚼し嚥下できる。

6点：時間がかかる。きざみ食や嚥下食。自助具を使う。あるいは非経口栄養を併用。

5点：食器のふたを取ってもらう、自助具を装着してもらう。エプロンを着けてもらう。時に指示が必要。

4点：食べものを集めてもらう、口の中を確認してもらう。

3点：食べものをスプーンにのせてもらう、お椀を持たせてもらうと自分で味噌汁を飲む。

2点：自分で食べるが多くをこぼす。

1点：口に入れてもらうと食べる。

2 整容の評価

口腔ケア・整髪・手洗い・洗顔・髭剃りまたは化粧を評価。

7点：歯・義歯を磨く、櫛などで髪をとかす、手洗い、洗顔、ひげそりや化粧を全て自力で行っている。

6点：時間がかかる、自助具を使用。

5点：歯ブラシに歯磨き粉をつけてもらう。ブラシ・コップ・タオルなどを用意してもらう。

4点：確認してもらう。仕上げをしてもらう。

3点：口腔ケア、洗顔、手洗い、整髪のどれかは自分でしている。

2点：どれも半分以上介護してもらっている。

1点：主として介護に頼っている。

3 清拭（入浴）の内容

身体を洗う、拭く動作を評価。洗う範囲は首から下で、背中を含まない。

7点：自分で洗い、自分で拭く。

6点：時間がかかる。自助具（たとえば柄つきスポンジやシャンプーハットなど）を使用。

5点：スポンジやタオルに石けんをつけてもらう。

4点：胸・腕・腹部・大腿・下腿・会陰部全面・臀部のいずれか2カ所までを洗ってもらう。

3点：いずれか5カ所までを洗ってもらう。

2点：いずれか7カ所までを洗ってもらう。

1点：自分で洗えないか、洗っても2カ所まで。

4 更衣（上）の内容

衣服、装具、義肢などの着脱を評価。引き出しなどからの取り出しやコーディネートは含まない。

7点：自分で着脱している。

6点：時間がかかる。マジックテープなどに交換している。自助具を使用。

5点：袖を通す、かぶる、引き下ろしたり前を合わせる、ボタンやホックを留める、4動作のうちどれか1つを手伝ってもらう。

4点：どれか2つまでを手伝ってもらう。

3点：どれか3つまでを手伝ってもらう。

2点：どれか1つは自分でする。

1点：すべてを手伝ってもらう。

5 更衣（下）の内容

下着、ズボン、靴下、靴などの着脱を評価。

7点：自分で着脱している。

6点：時間がかかる。自助具（ゴム式のズボン、引き上げ用のひもなど）を使用。

5点：用意する、足を通す、引き上げる、前（横）を合わせる。ホックやボタンを留める。ファスナーをあげる、靴を履く、靴紐を結ぶで評価。どれかの2つまでを手伝ってもらう。

4点：どれかの4つまでを手伝ってもらう。

3点：どれかの6つまでを手伝ってもらう。

2点：どれか1つは自分でする。

1点：すべて手伝ってもらう。

6 トイレ動作の内容

排尿・排便の前後のズボン・下着を上げ下げ、会陰部を清潔に保つことを評価。トイレに行くことは含まない。

7点：自分で全てしている。

6点：時間がかかる。自助具（手すりなど）を使用。

5点：ズボン・下着などを下げる、会陰部を清潔にする、ズボン・下着などを上げるで評価。全部自分でするが、見守り、時に指示が必要。

4点：どれか1つを手伝ってもらう。

2点：どれか2つを手伝ってもらう。

1点：すべて手伝ってもらう。もしくはオムツを使用し交換してもらっている。

7 排尿の内容

排尿をしてもよい状況でタイミングよくできることを評価。

7点：失敗はなく、自立している。

6点：失敗はないが、時間がかかる、自己導尿し自分でトイレに廃棄している。薬を使用している。

5点：自立しているが月に1回未満の失敗がある。または週1回以下の介助が必要。自己導尿や尿器の場合は尿捨てを頼んでいる。

4点：おおむね自立しているが月に1回以上週1回未満の失敗がある。または時折介助が必要。尿器の場合は介助者が手を添えている。

3点：おおよそ2回に1回は介助が必要。

2点：時折自分で排尿できる。またはオムツを使用し交換を自分で頼む。

1点：毎回介助が必要。

日中と夜間で点数が異なる場合…低い方の点数を採用します。

8 排便の内容

排便をしてもよい状況で、タイミングよくできることを評価。

7点：失敗はなく、自立している。

6点：失敗はないが、時間がかかる、座薬を自分で使用している。

5点：自立しているが月に1回未満の失敗がある。または週1回以下の介助や座薬挿入介助が必要。

4点：おおむね自立しているが月に1回以上週1回未満の失敗がある。または時折座薬挿入や浣腸などの介助が必要。

3点：おおよそ2回に1回は介助が必要。

2点：時折自分で排便できる。またはオムツを使用し交換を自分で頼む。

1点：毎回介助が必要。

9 ベッド・椅子・車椅子への移乗内容

ベッド、椅子、車椅子の間でのすべての移乗を評価。起立動作やベッドからの起き上がり含む。車いすを持ってきてもらうなどは含まない。

7点：自立している。

6点：手すりや装具を使用。

5点：見守りが必要。

4点：おおむね自立しているが、介助者が手を添えている。

3点：軽く引き上げている。

2点：自分で動くが、介助者がしっかりと補助している。

1点：全介助。

10 トイレ移乗の内容

便器の移ることと便器から離れることを評価。

7点：自立している。

6点：手すりや装具を使用。

5点：見守りが必要。

4点：おおむね自立しているが、介助者が手を添えている。

3点：軽く引き上げている。

2点：自分で動くが、介助者がしっかりと補助している。

1点：全介助。

11 浴槽移乗の内容

浴槽またはシャワー室に入り、そこから出る動作を評価。

7点：自立している。

6点：手すりや装具を使用。

5点：見守りが必要。

4点：おおむね自立しているが、介助者が手を添えている。

3点：軽く引き上げている。

2点：自分で動くが、介助者がしっかりと補助している。

1点：全介助。

12 歩行状態の内容

7点：50m以上自分で歩行している。

6点：歩行器、杖などを用いて、あるいは非常に時間をかけて50m以上自分で歩行している。

5点：自分で歩行しているが、見守りが必要。または自立歩行で15m以上50m未満が可能。

4点：おおむね自立しているが、介助者が手を添えている、あるいは手を引いている。

3点：軽く支えている。

2点：しっかりと支えているが15m以上歩けない。

1点：一人でどのように介助しても15m歩けない。または二人介助が必要。

13 階段昇降の内容

屋内の12～14段（民家の1階分）の階段で評価。

7点：手すりなしで自分で昇降する。

6点：手すりや装具などが必要。または時間がかかる。

5点：自分では4～6段程度昇降できる。あるいは付き添って見守る必要がある。

4点：付き添って手を添える必要がある。

3点：軽く支える必要がある。

2点：しっかりと支える必要がある。

1点：二人介助が必要。あるいはできそうだが危険なため実施していない。

(2) 認知項目

14 理解の内容

言葉を聞きとることを評価。

7点：普通のやりとりが可能。

6点：補聴器などが必要。あるいは文字で伝える。

4点：短い文章で伝える。重要な言葉を繰り返す、あるいは時に言い換えが必要。

3点：数語以内で伝える。文字に加えて絵による補助が必要。

2点：1語で伝える。ジェスチャーや絵で伝える。

15 表出の内容

自分の意思や感情を相手に伝えられるかを評価。

7点：普通のやりとりが可能。

6点：自分の意思を伝えられるが、トーキングエイドや人工喉頭などの補助具が必要。あるいは時間がかかる。

4点：短い文章だが、理由などを添えて意思を伝えられる。

3点：Yes/No以外の意思を伝えられる。

2点：身振りや1語で意思を伝える。

16 社会的交流の内容

相手に迷惑をかけているか、自分の言動が人にどう思われているかがわかる事を評価。

7点：迷惑をかけることを予想し、節制できる。

6点：他人と打ち解けるのに時間がかかる。

5点：他人に対して要求が厳しくつき合いづらい。

4点：

3点：暴力・暴言・不潔行為などをしてしまうことがまれにある。

2点：暴力・暴言・不潔行為などをしてしまうことがたびたびある。

1点：自分の言動を制御できず社会生活が営めない。

17 問題解決の内容

日常生活の中で起こる問題に対応する能力を評価。

7点：買い物や交渉ごとなど自分でできる。

6点：自分で解決できるが時間がかかる。

- 5点：おおむねできるが見守りが必要。
- 4点：時折アドバイスが必要。
- 3点：アドバイスや支援が必要なことが約半分ある。
- 2点：アドバイスが必要なことが多い。
- 1点：全て支援が必要。

18 記憶の内容

【記憶の定義】

日常生活を行う上で不可欠な内容（最低限に近い）を覚えていることを評価。

- 7点：よく合う人を認識している、日課を遂行できる、依頼された単純な仕事を完遂できる。
- 6点：上記を全てできるが時間がかかる。
- 4点：上記を全てできるがヒントが必要なことがある。もしくはどれか1つが困難。
- 3点：上記をできるときとできないときがある。
- 2点：上記をできるときもある。
- 1点：どれもできない。